

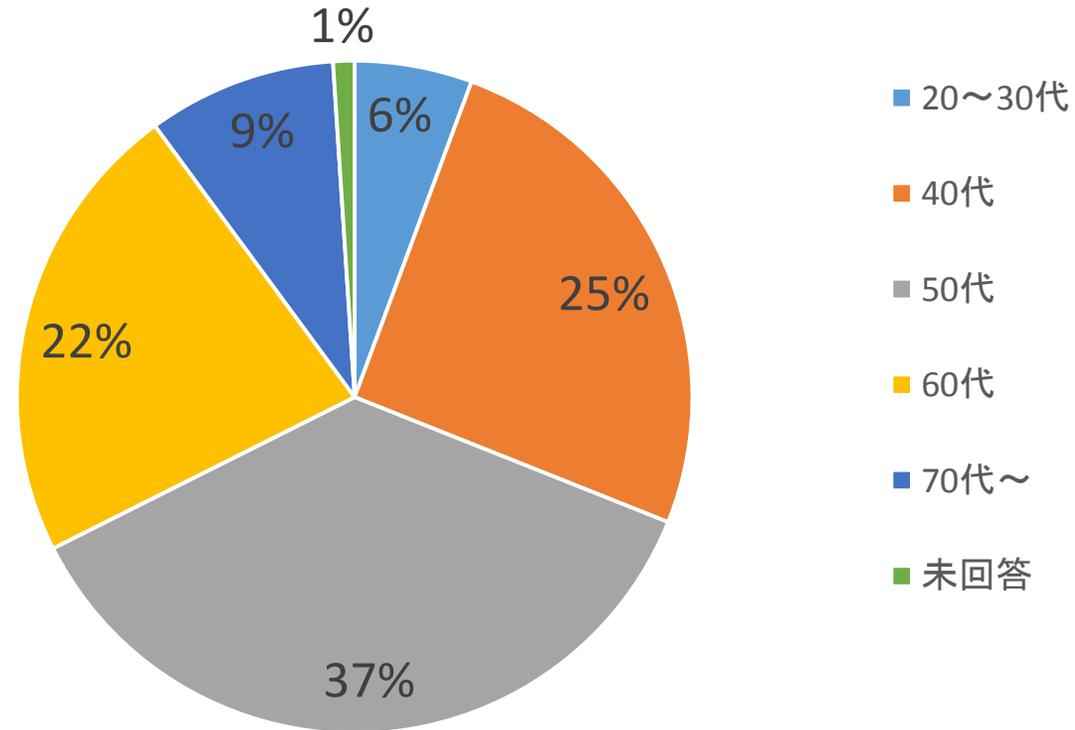
歯科会員アンケートまとめ (東京歯科分の集計結果)

東京歯科保険医協会
経営管理部

歯科会員アンケートとは

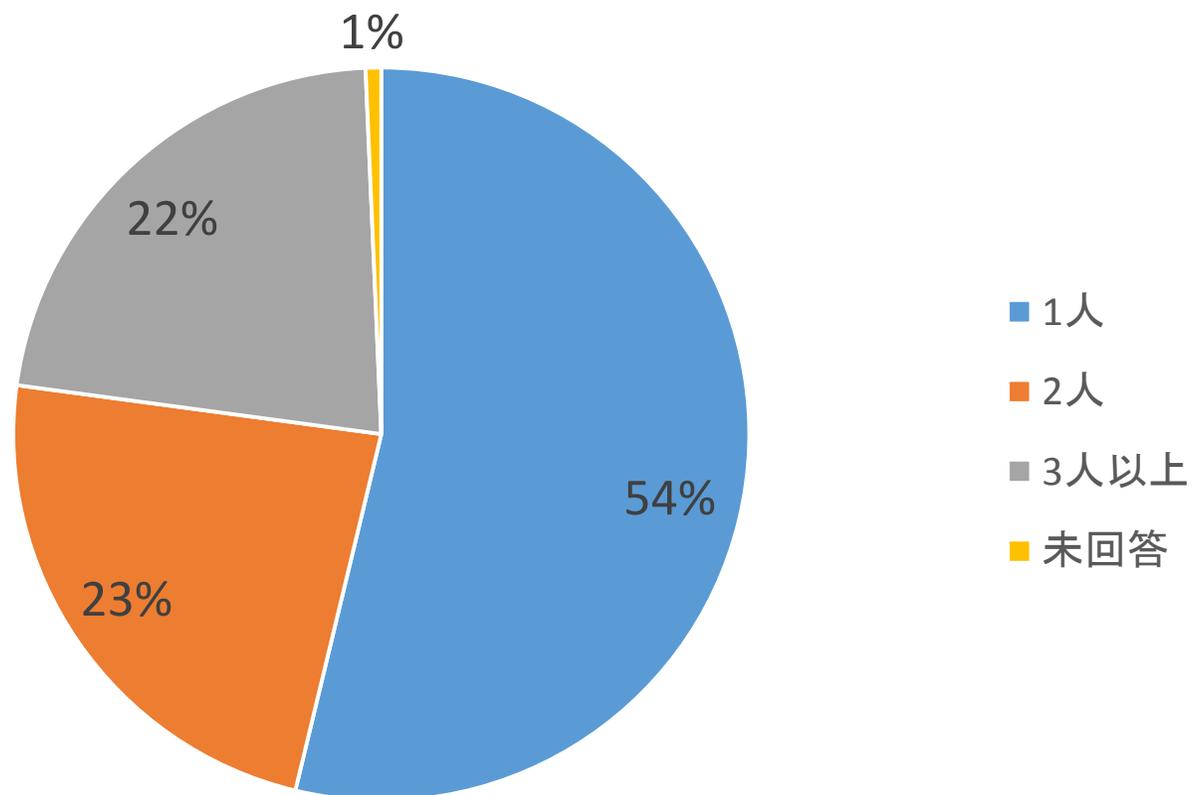
- 新型コロナウイルス感染症拡大による医院経営への影響を把握するため、「歯科会員アンケート」を実施した。現在の経営状況、今後の経営の見通し、歯科医業経営を改善するために先生ご自身が望む方策などについて調査した。
- 実施期間は2021年5月18日～2021年5月31日まで。
- 調査対象はデンタルブック登録会員とFAX登録のある会員、FAX送信件数は1536件、メール会員約3200名へはメールニュースで案内した。
- 有効回答件数は586件、回収率は約12%。

1、回答者の年代 (n=586)



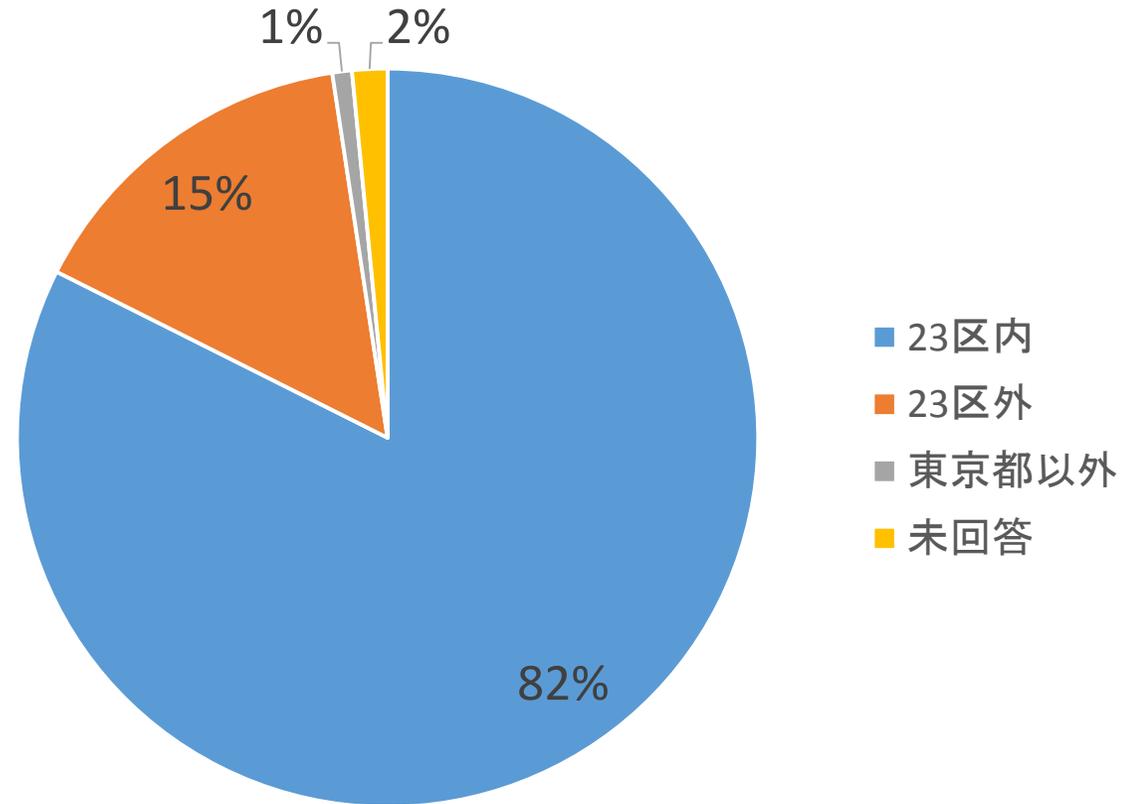
回答者の年代は50代が37%と一番多く、次いで、40代、60代の回答が多かった。
40代~60代の回答が84%を占めた

2、歯科医院の歯科医師数 (n=586)



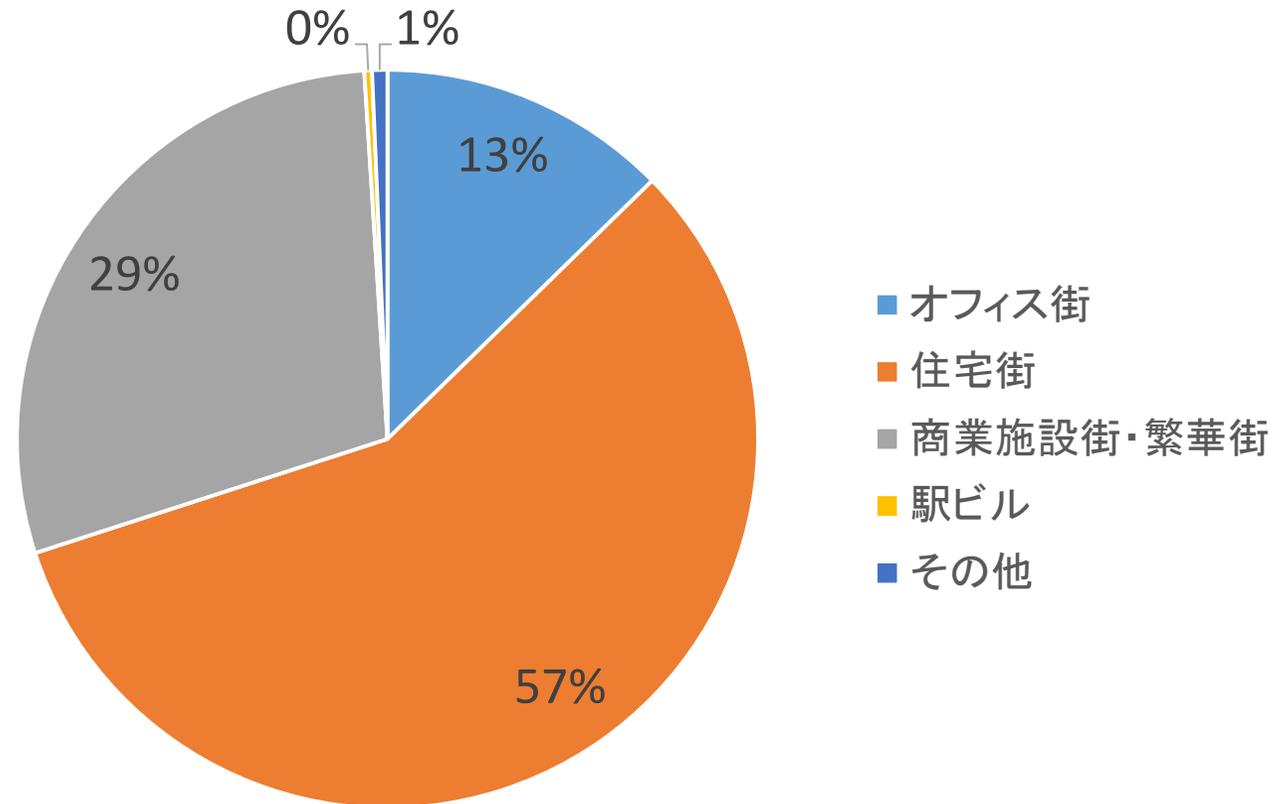
回答者の歯科医院の歯科医師数は1人が54%と一番多かった。

3、歯科医療機関の所在地 (n=586)



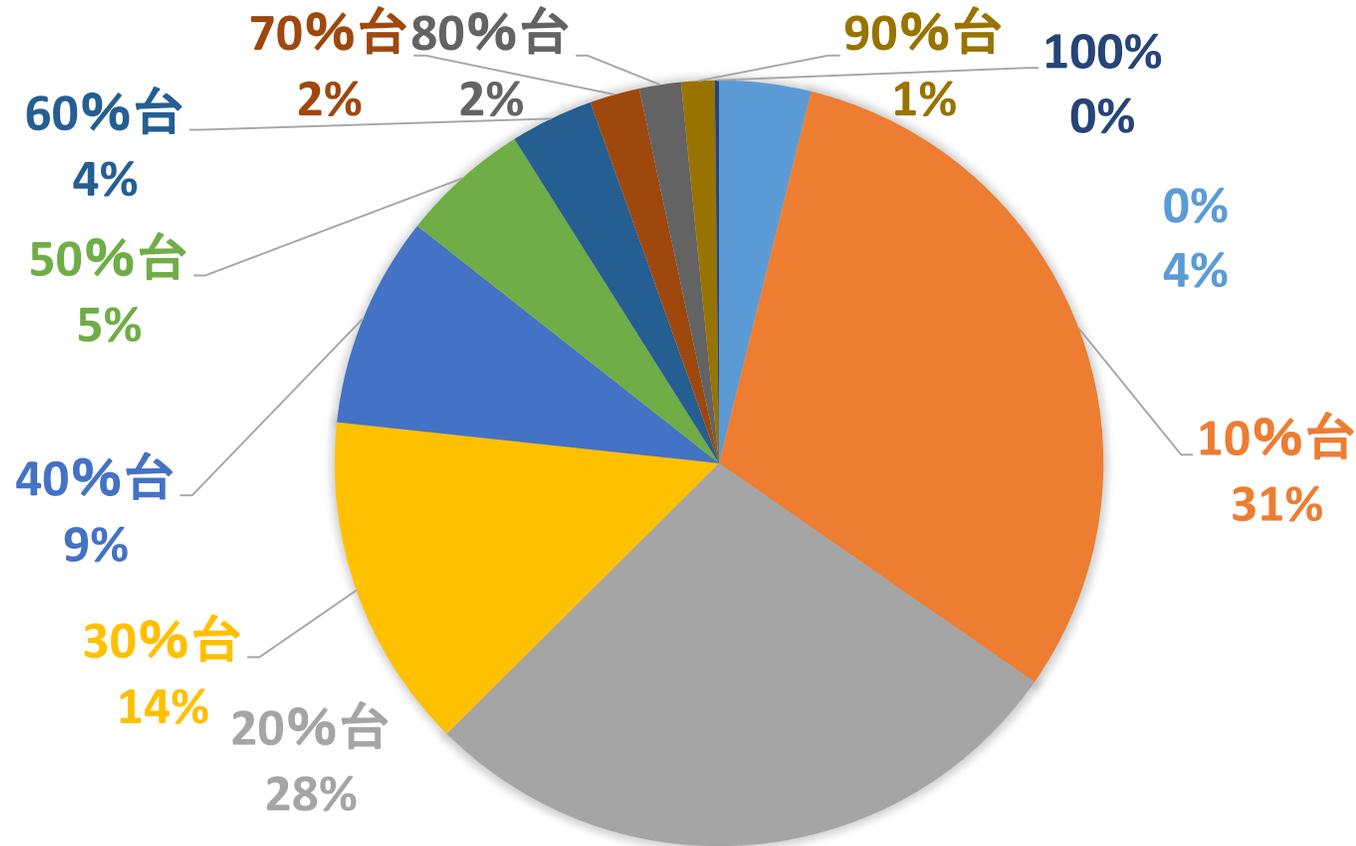
回答者の歯科医療機関の所在地は23区内が82%と一番多かった。

4、開業地 (n=300) ※有効回答のみ集計



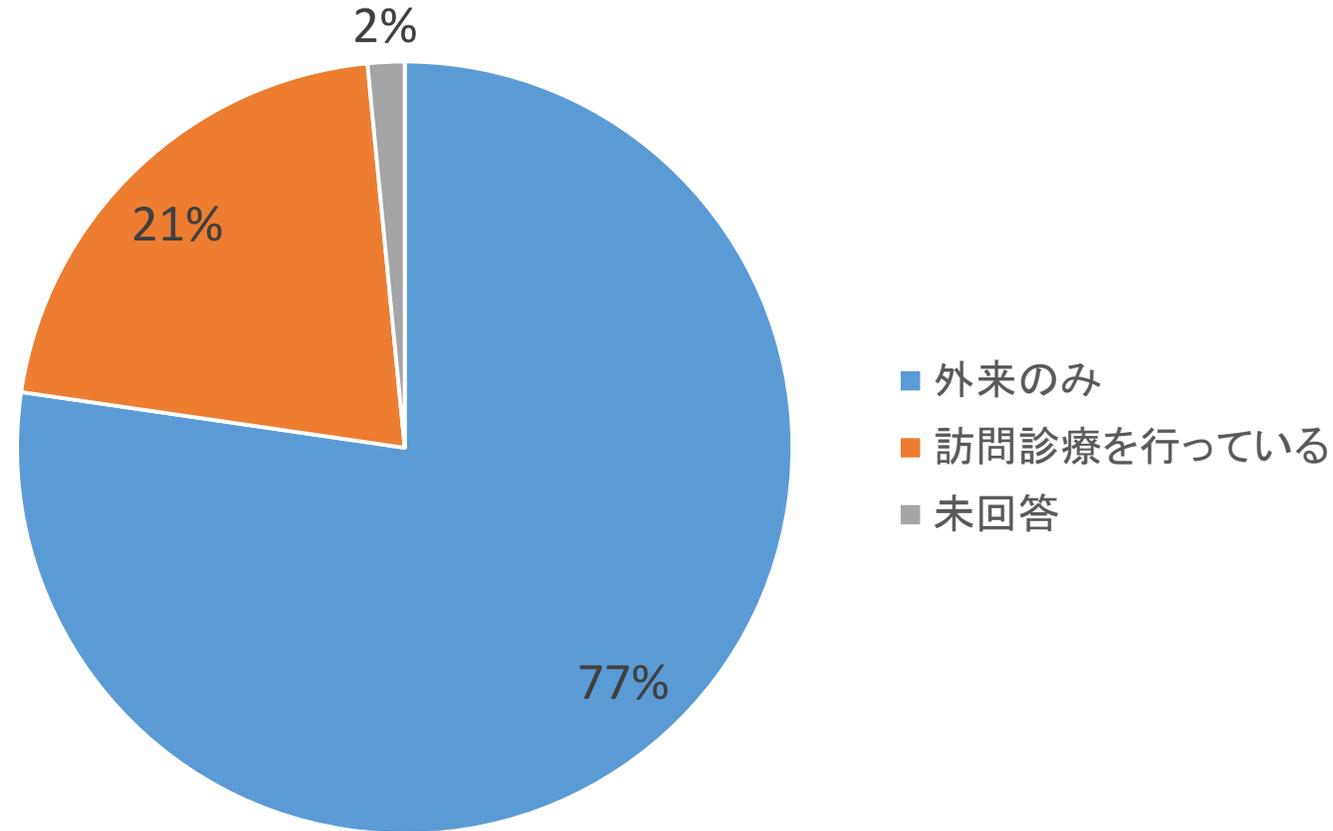
有効回答の開業地は住宅街が57%と一番多かった。
次いで商業施設街、繁華街が29%、オフィス街が13%であった。

5、自費割合 (n=571) ※有効回答のみ集計



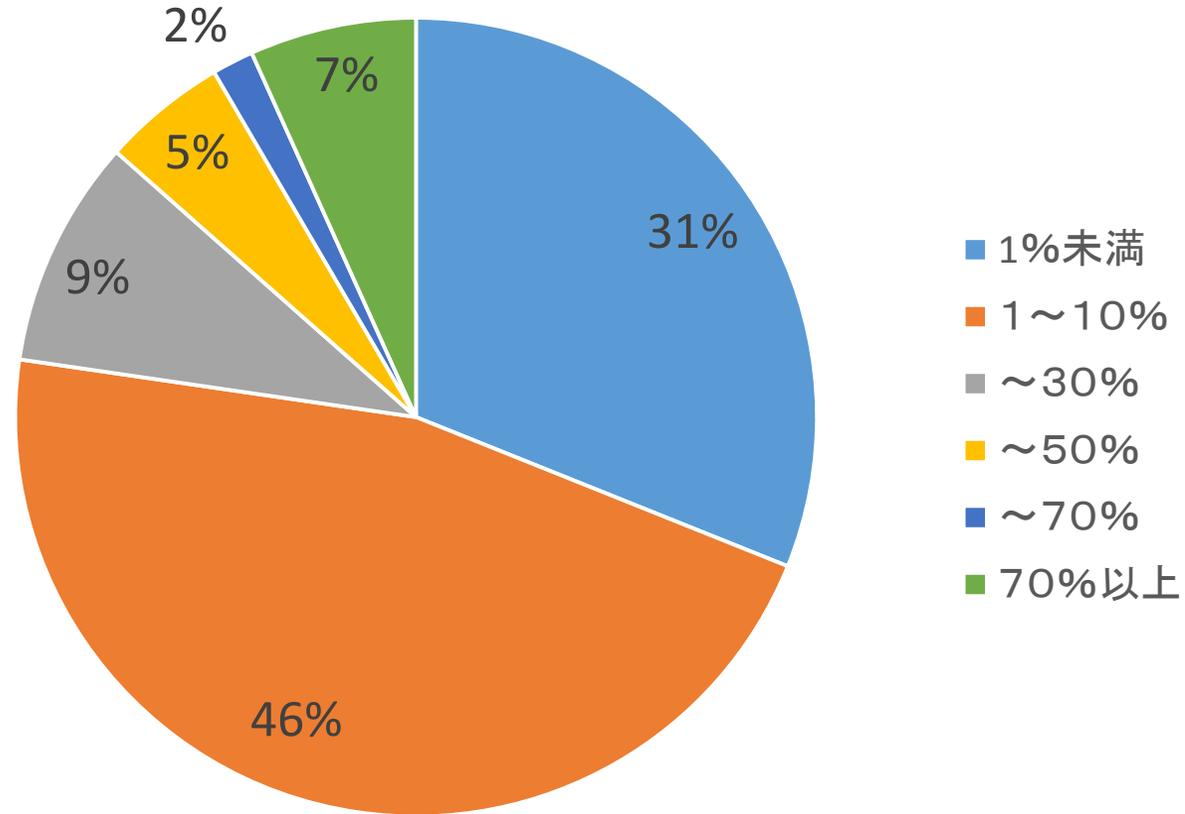
自費割合は10%代が一番多く、次いで20%が28%、30%代が14%であった。0%～30%代で全体の77%を占めた。

6、診療形態について(n=586)



診療形態については外来のみ行っている診療所が77%で一番多かった。訪問診療を行っている医療機関は21%だった。

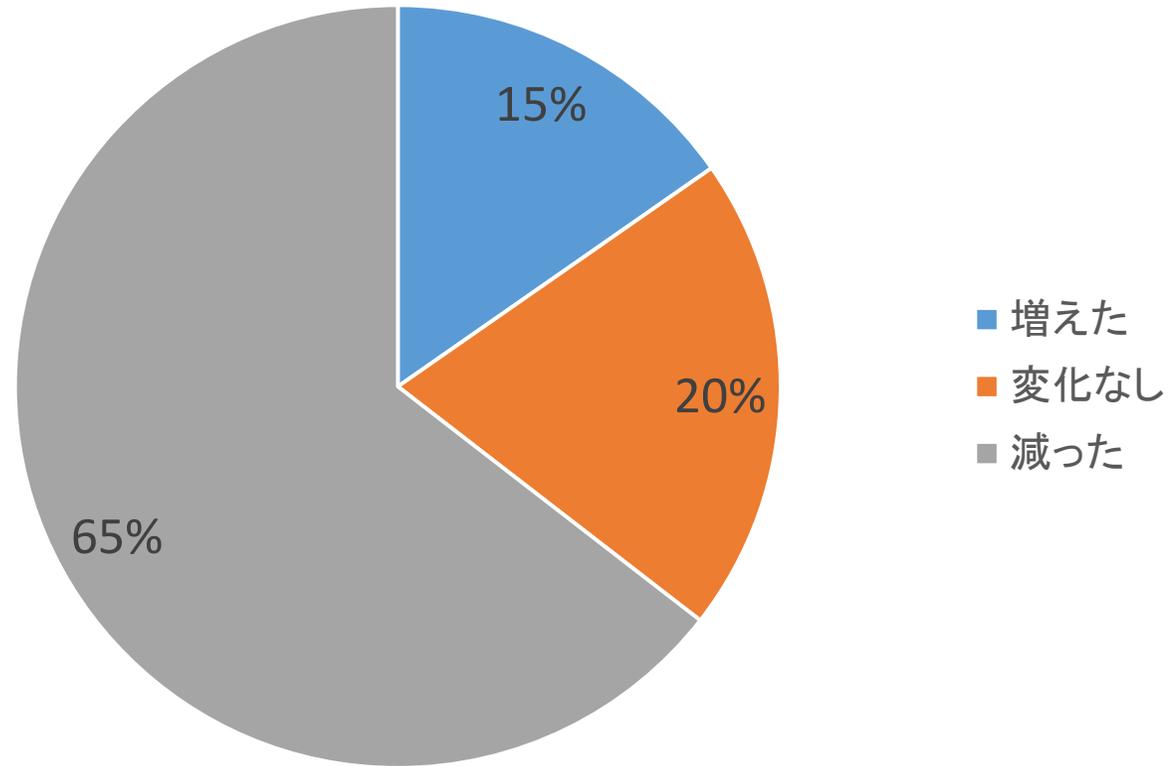
6-1 訪問診療の割合 (n=124)



訪問診療の割合は1~10%が46%と一番多かった。
1%未満と1~10%で77%を占めた。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

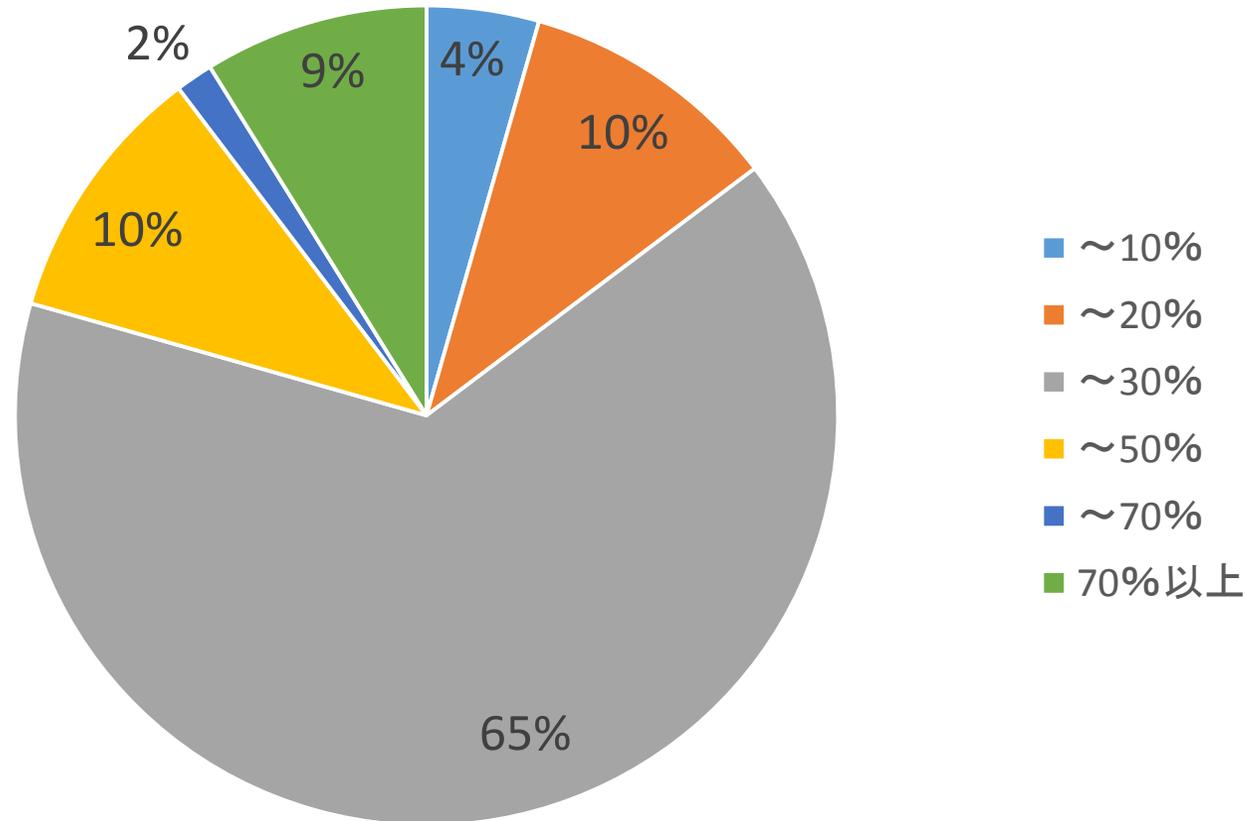
①2021年4月と2019年4月の外来患者数の比較 (n=569) ※有効回答のみ集計



2019年と比較し、外来患者数が減ったが65%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

①ー1.2019年より「増えた」と答えた歯科医院の増加割合
(n=87)

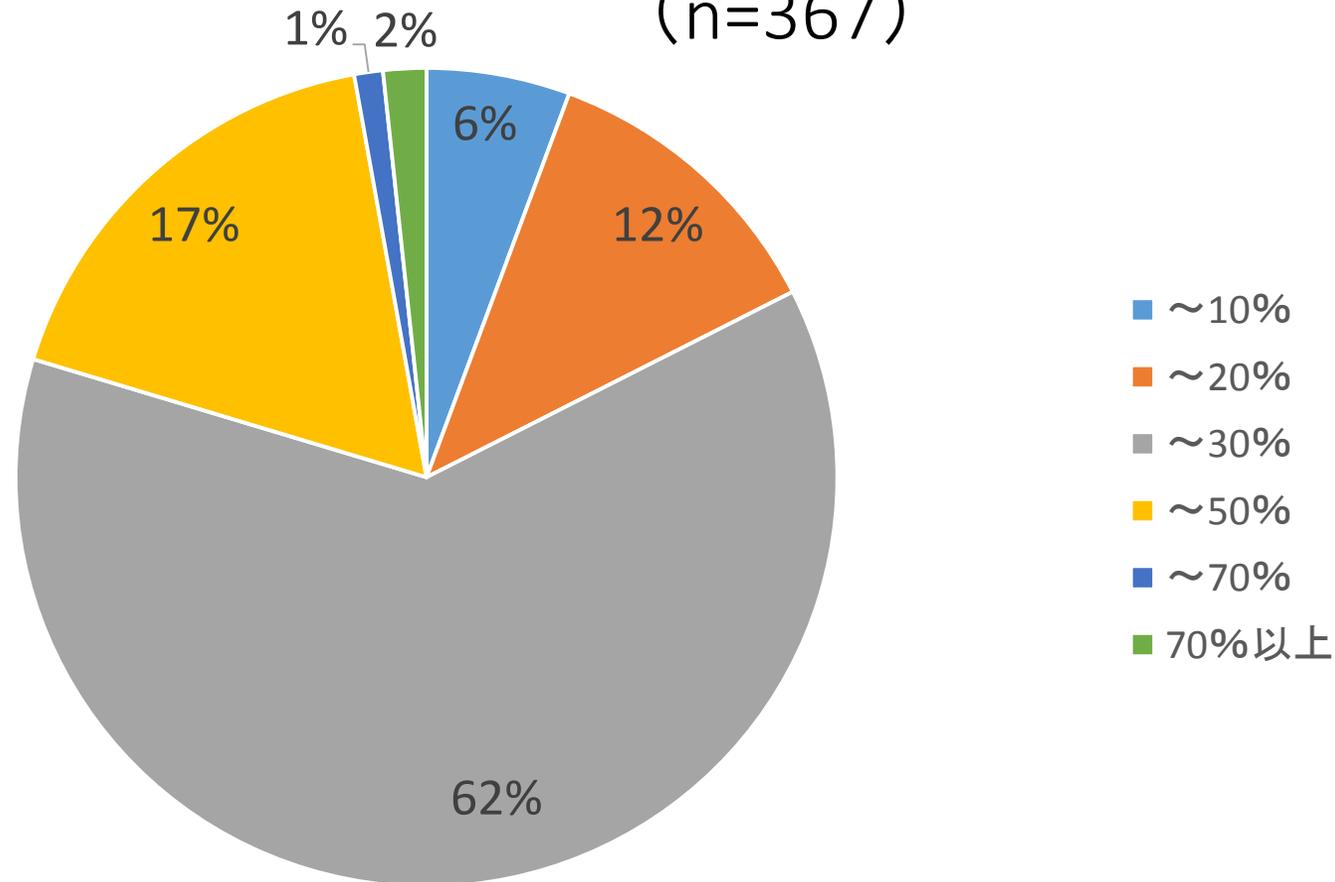


2019年と比較し、外来患者数が増えた歯科医院の増加割合は~30%が65%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

①ー2.2019年より「減った」と答えた歯科医院の減少割合

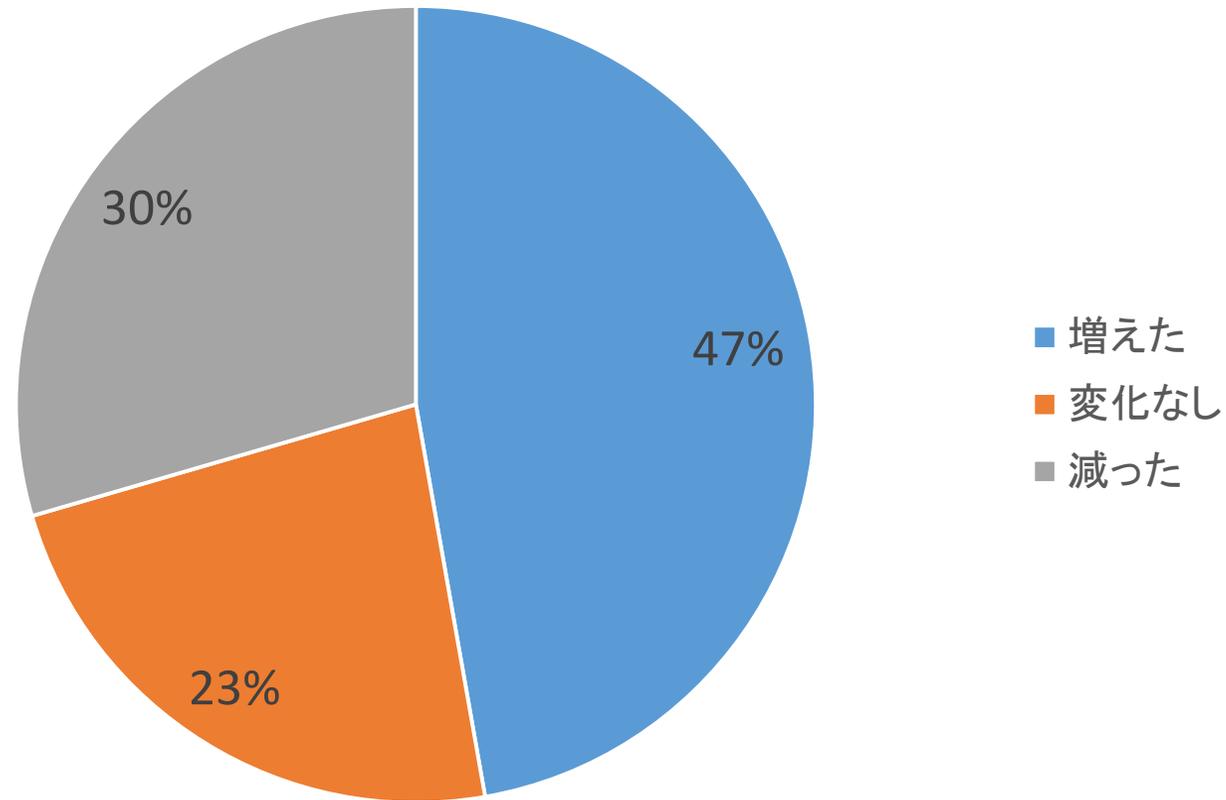
(n=367)



2019年と比較し、外来患者数が減った歯科医院の減少割合は～30%が62%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

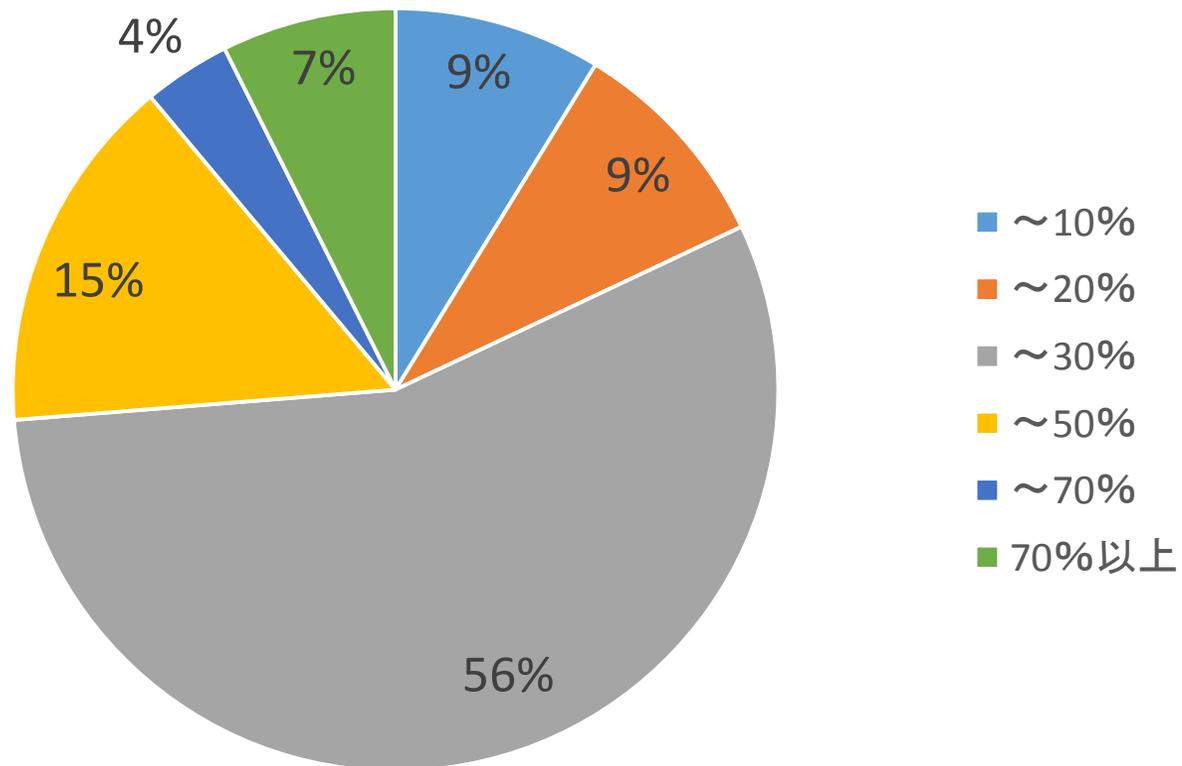
①ー3 2021年4月と2020年4月の外来患者数の比較 (n=559) ※有効回答のみ集計



2020年と比較し、外来患者数が増えたが47%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

①ー4.2020年より「増えた」と答えた歯科医院の増加割合
(n=264)

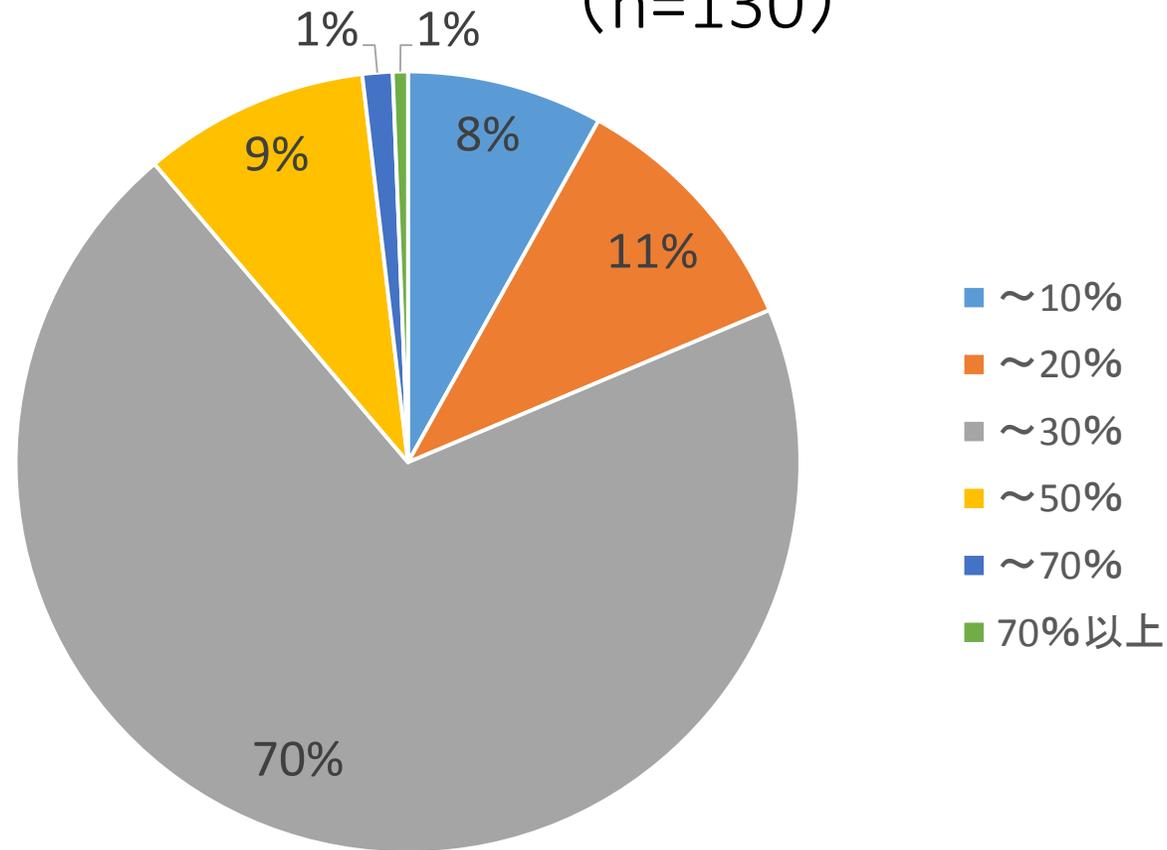


2020年と比較し、外来患者数が増えた歯科医院の増加割合は～30%が56%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

①ー5.2020年より「減った」と答えた歯科医院の減少割合

(n=130)

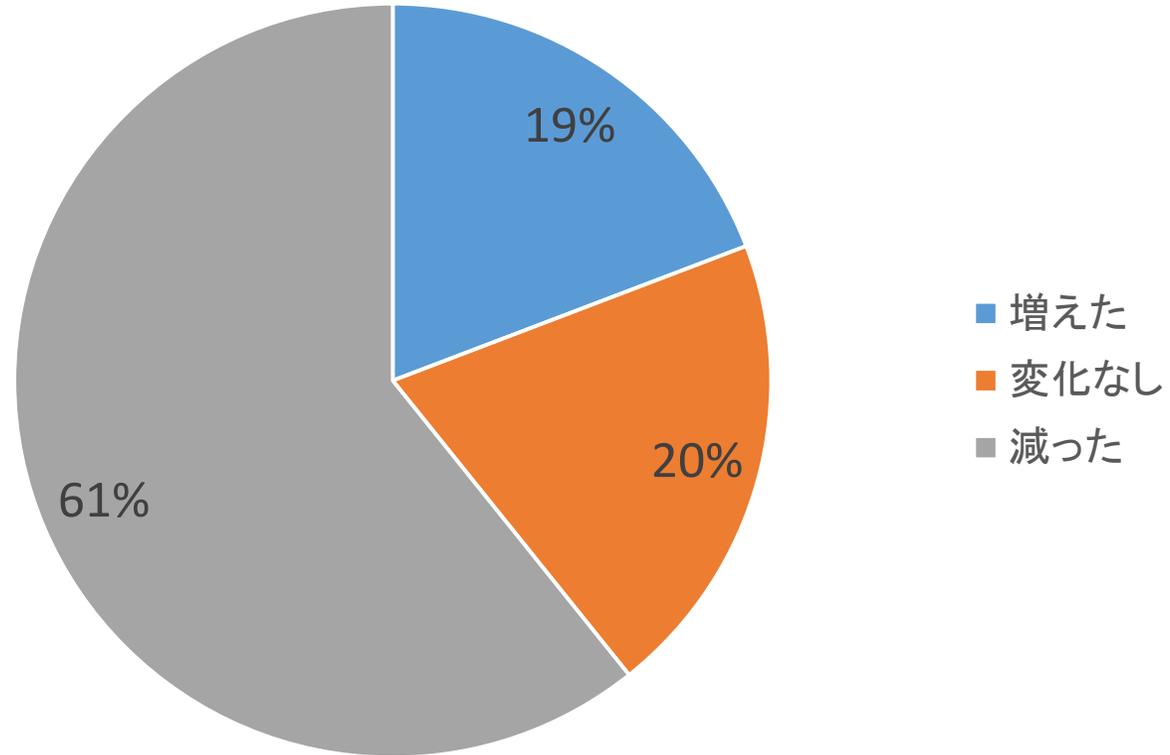


2020年と比較し、外来患者数が減った歯科医院の減少割合は~30%が70%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

②2021年4月と2019年4月の保険診療収入の比較

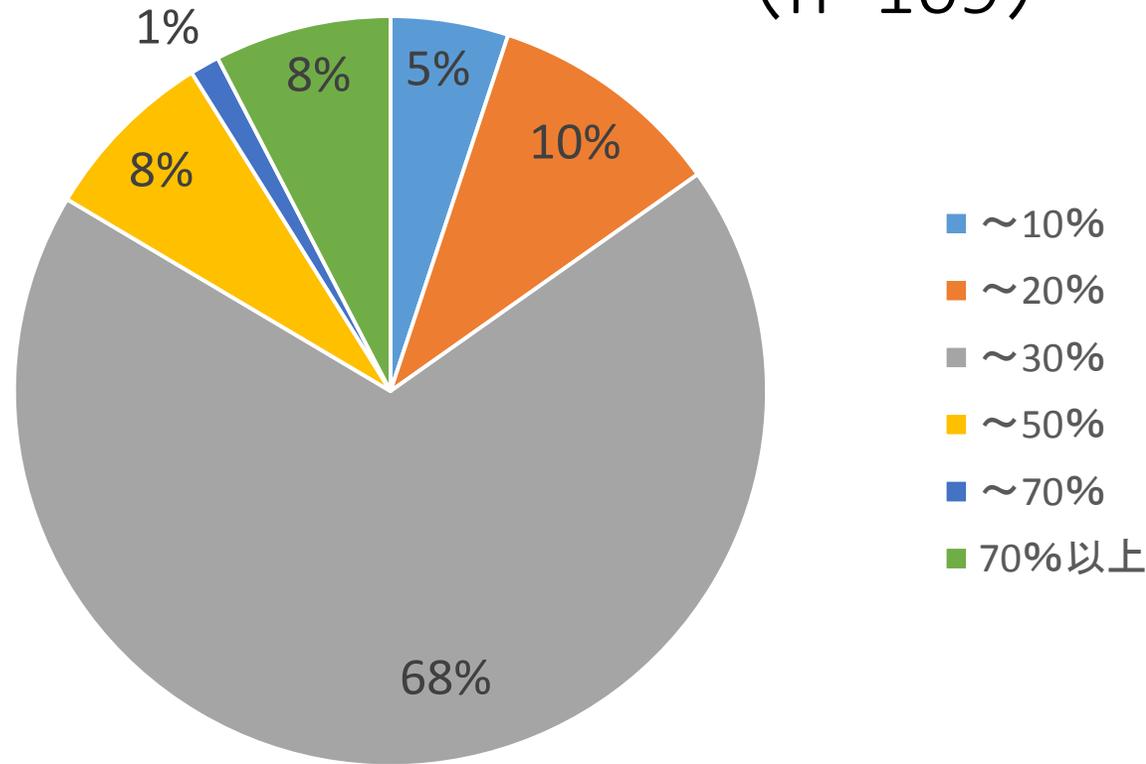
(n=568) ※有効回答のみ集計



2019年と比較し、保険診療収入が減ったが61%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

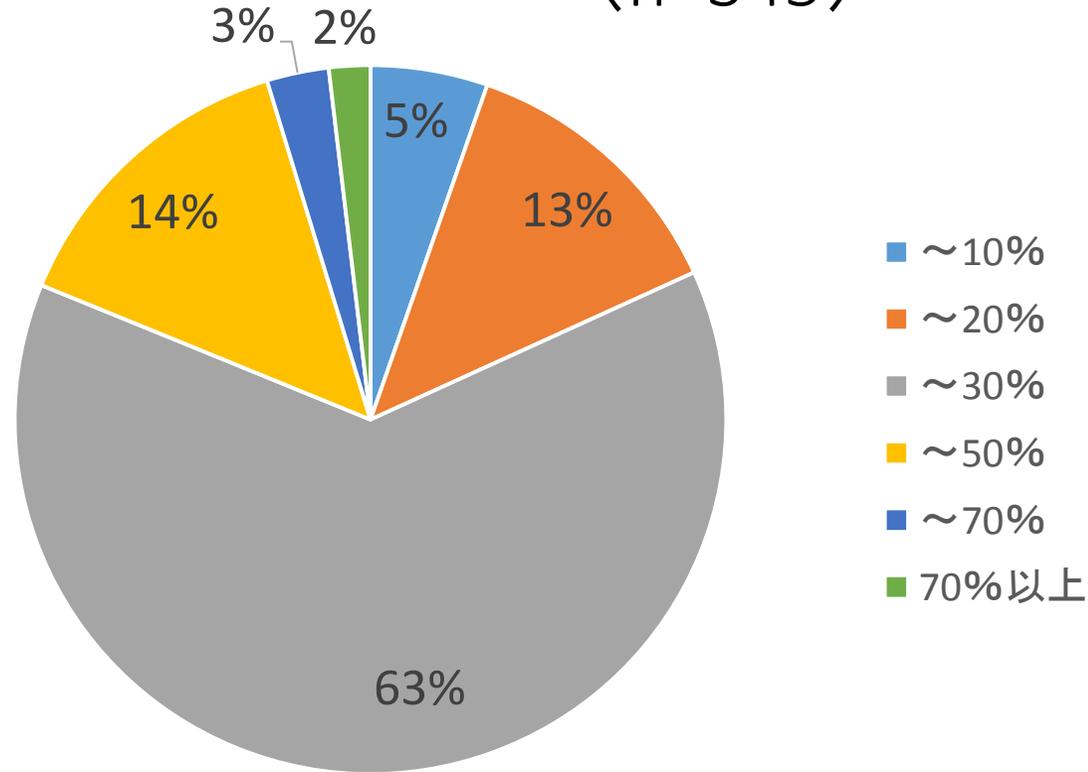
②ー1. 2019年より「増えた」と答えた歯科医院の増加割合
(n=109)



2019年と比較し、保険診療収入が増えた歯科医院の増加割合は~30%が68%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

②-2. 2019年より「減った」と答えた歯科医院の減少割合
(n=345)

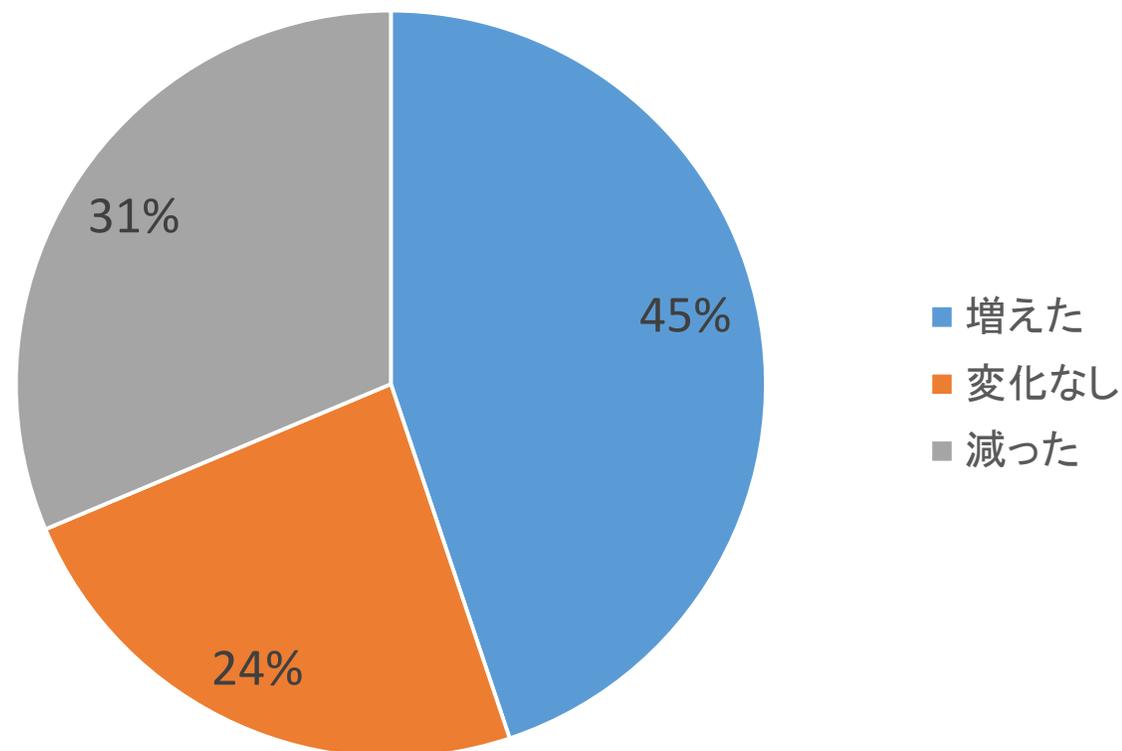


2019年と比較し、保険診療収入が減った歯科医院の減少割合は~30%が63%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

②-3 2021年4月と2020年4月の保険診療収入の比較

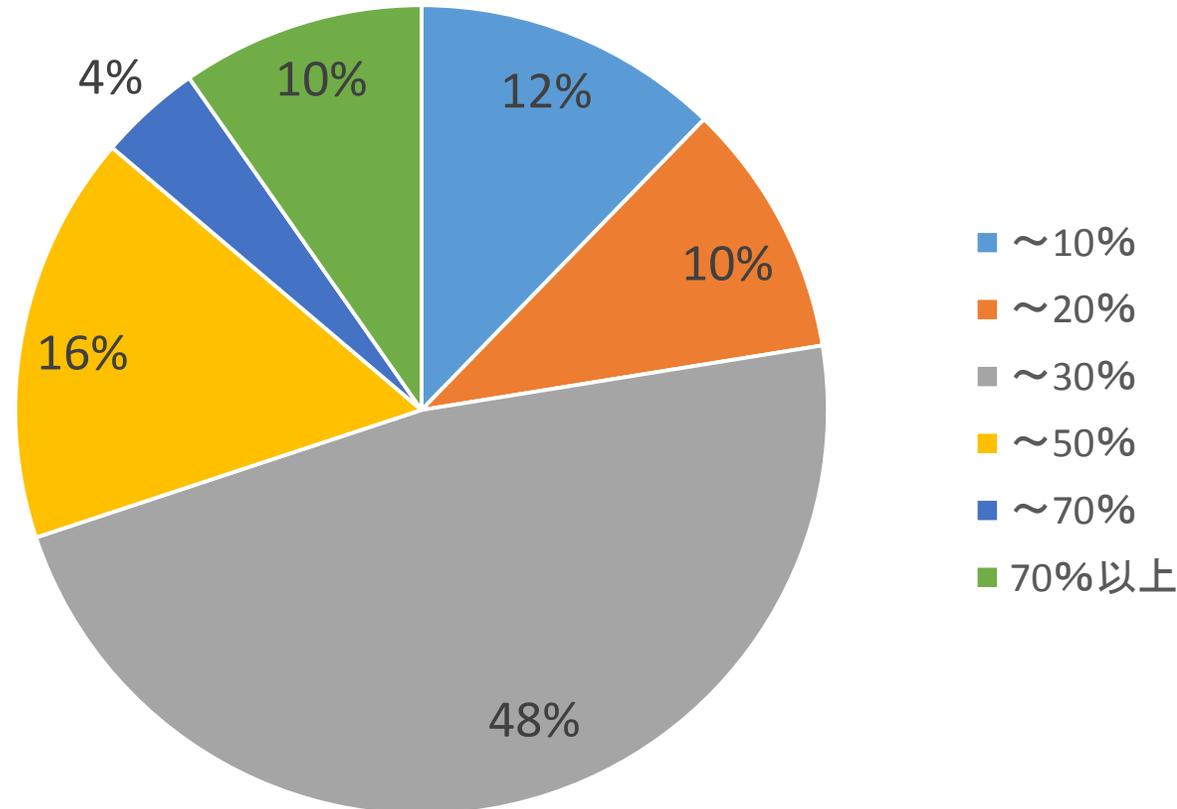
(n=555) ※有効回答のみ集計



2020年と比較し、保険診療収入が増えたが45%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

②ー4.2020年より「増えた」と答えた歯科医院の増加割合
(n=249)

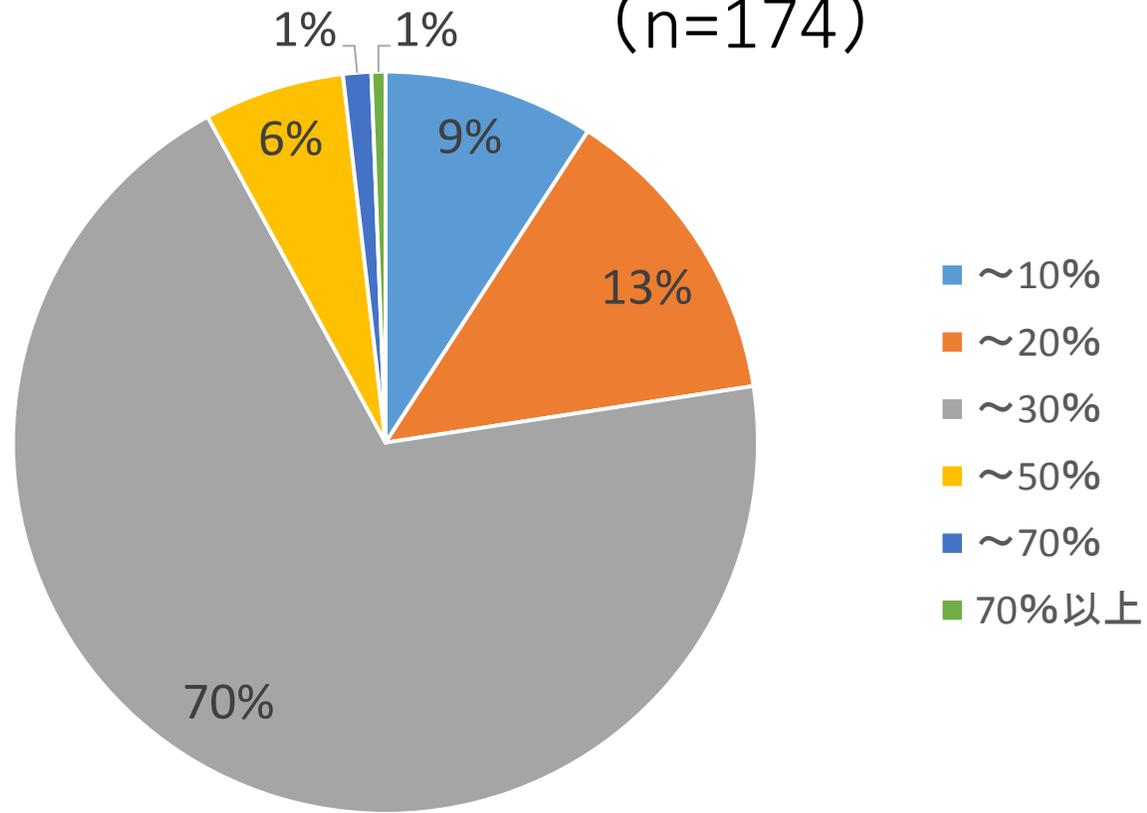


2020年と比較し、保険診療収入が増えた歯科医院の増加割合は~30%が48%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

②ー5.2020年より「減った」と答えた歯科医院の減少割合

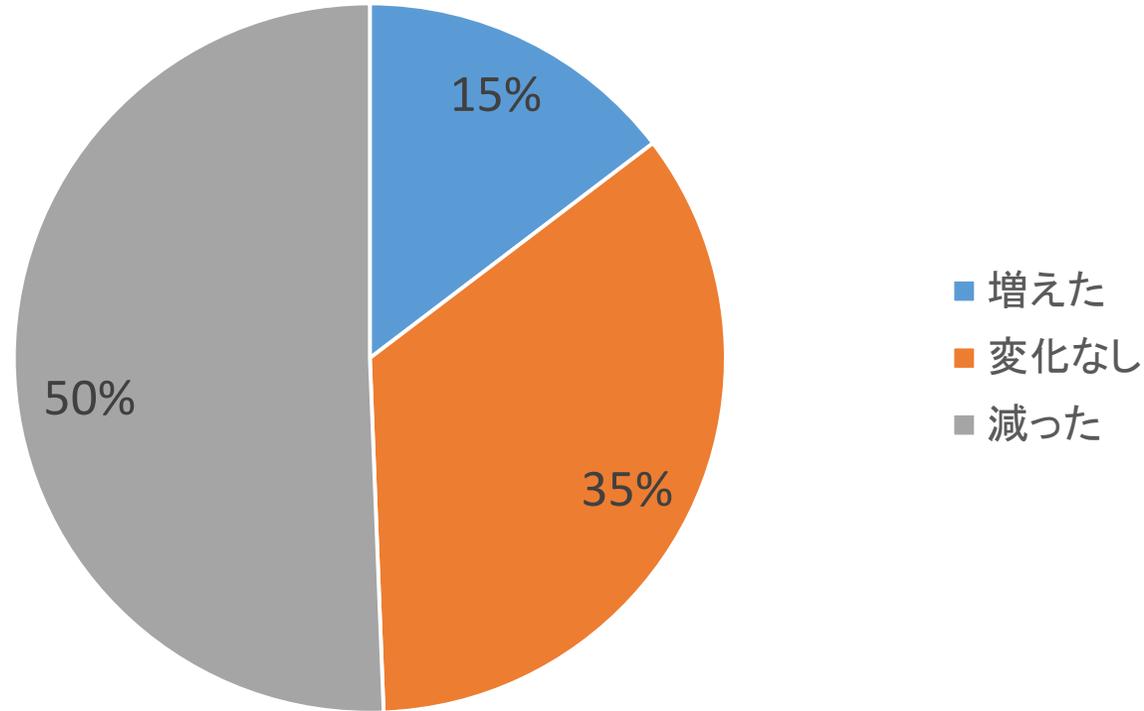
(n=174)



2020年と比較し、保険診療収入が減った歯科医院の減少割合は~30%が70%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

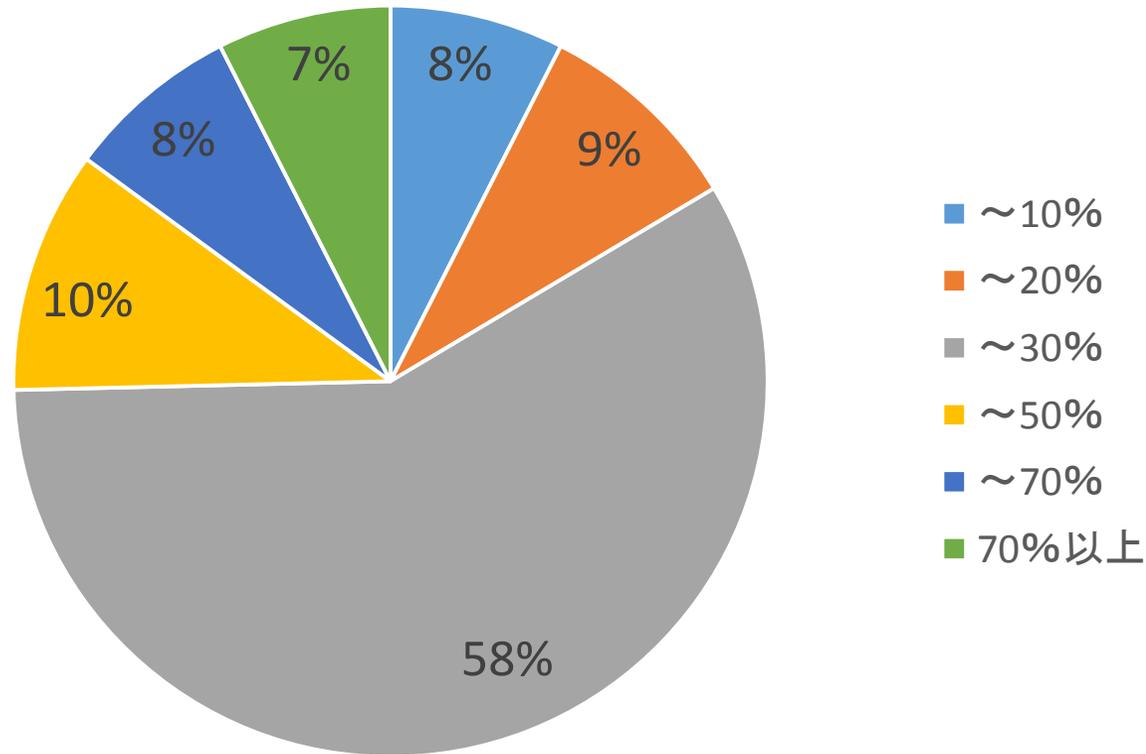
③2021年4月と2019年4月の自由診療収入の比較 (n=567) ※有効回答のみ集計



2019年と比較し、自由診療収入が減ったが50%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

③ー1. 2019年より「増えた」と答えた歯科医院の増加割合
(n=83)

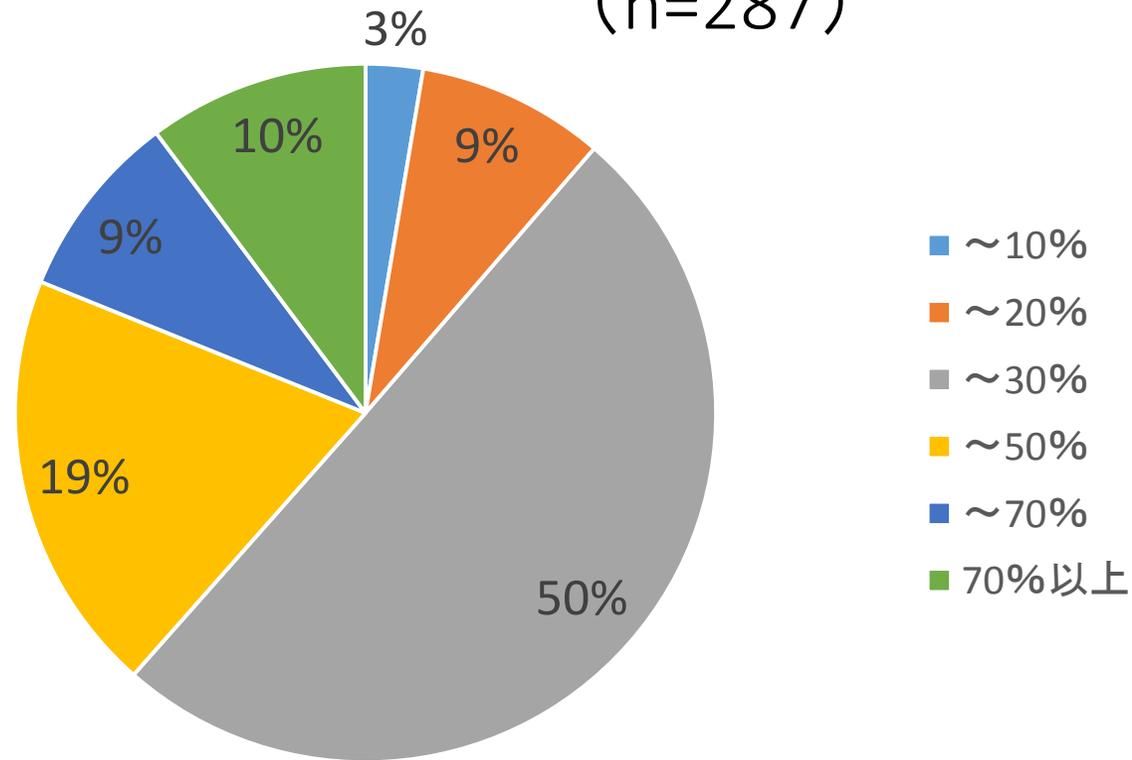


2019年と比較し、自由診療収入が増えた歯科医院の増加割合は~30%が58%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

③ー2.2019年より「減った」と答えた歯科医院の減少割合

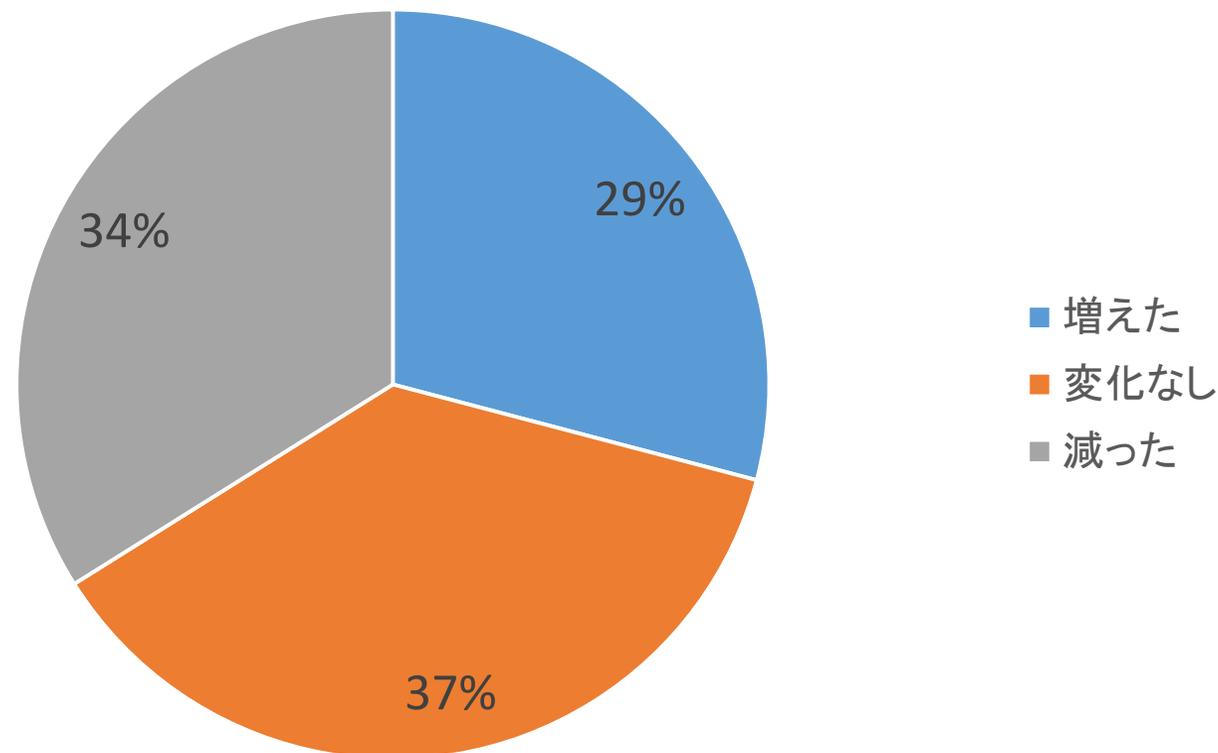
(n=287)



2019年と比較し、自由診療収入が減った歯科医院の減少割合は~30%が50%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

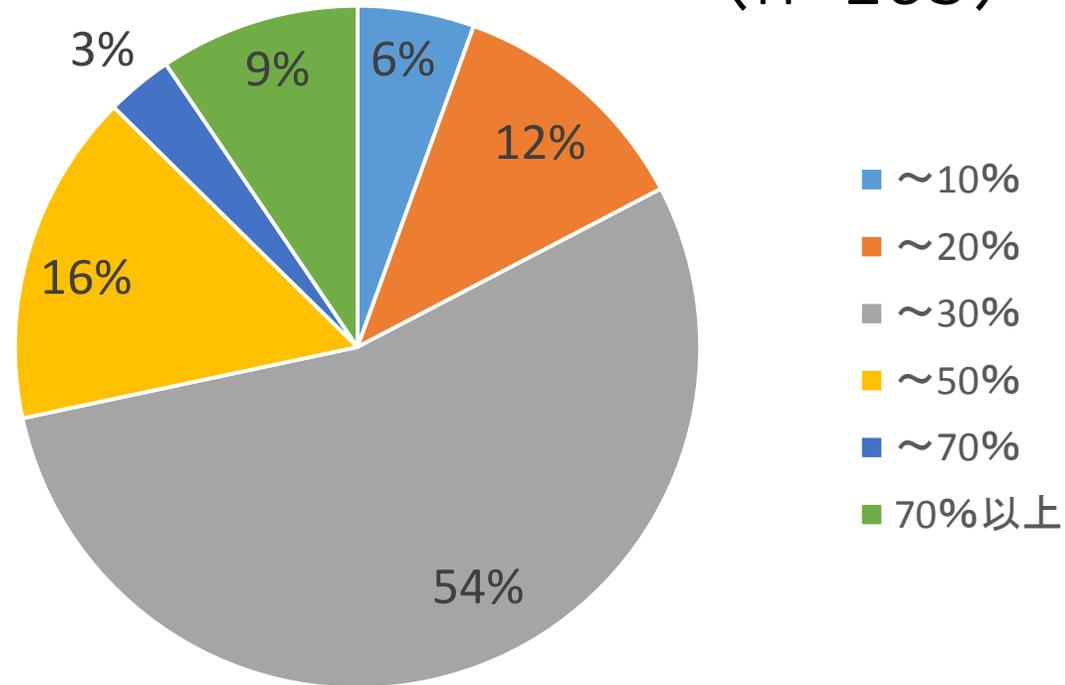
③-3 2021年4月と2020年4月の自由診療収入の比較 (n=560) ※有効回答のみ集計



2020年と比較し、自由診療収入が変化なしが37%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

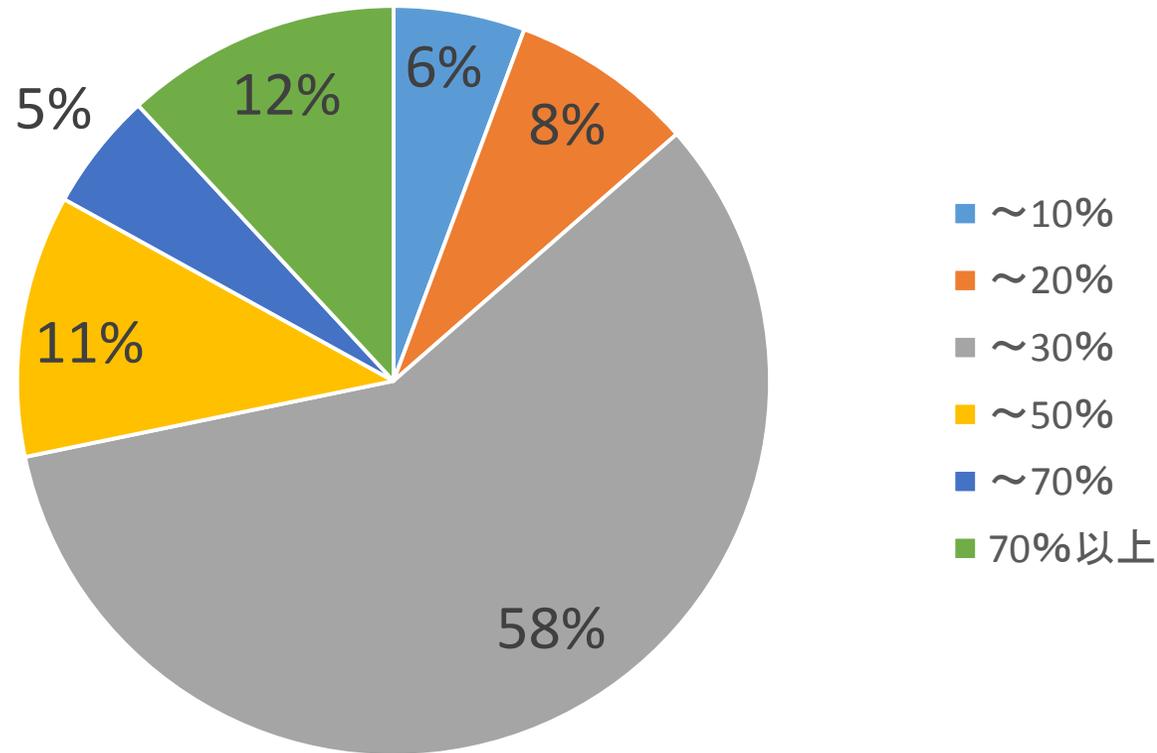
③ー4.2020年より「増えた」と答えた歯科医院の増加割合
(n=163)



2020年と比較し、自由診療収入が増えた歯科医院の増加割合は~30%が54%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

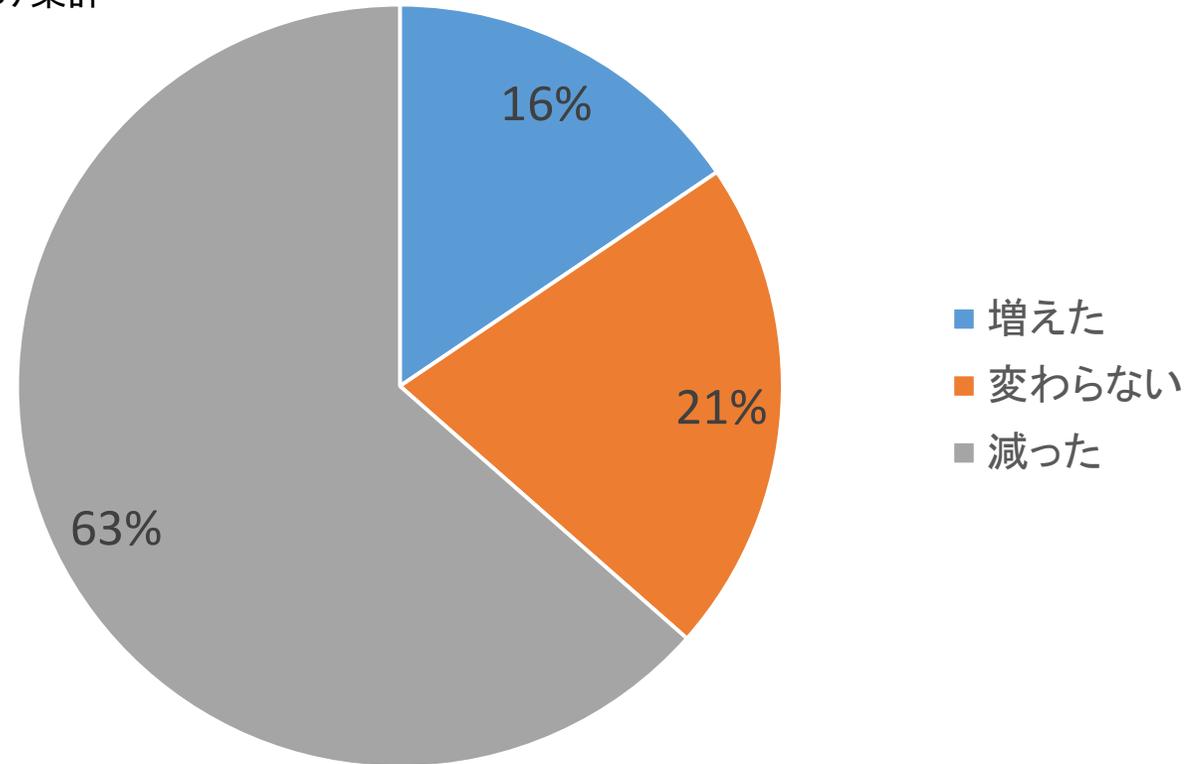
③ー5.2020年より「減った」と答えた歯科医院の減少割合
(n=190)



2020年と比較し、自由診療収入が減った歯科医院の減少割合は~30%が58%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

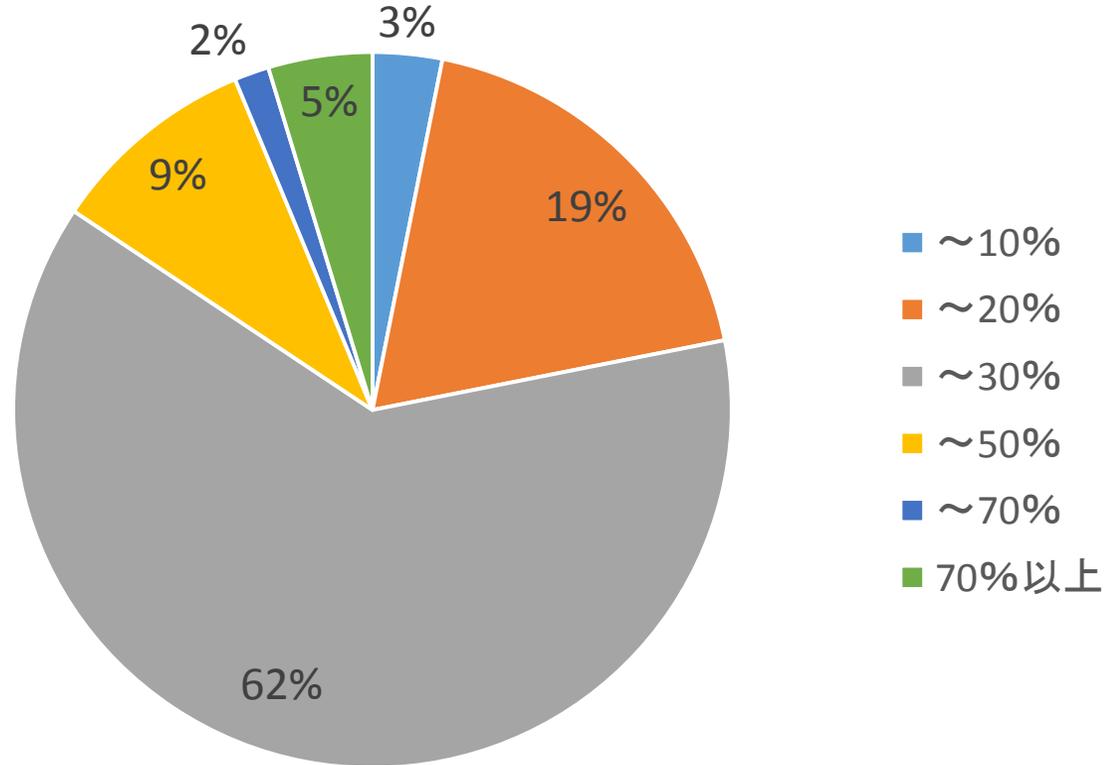
④ 2021年4月と2019年4月のレセプト枚数の比較 (n=567) ※有効回答のみ集計



2019年と比較し、レセプト枚数が減ったが63%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

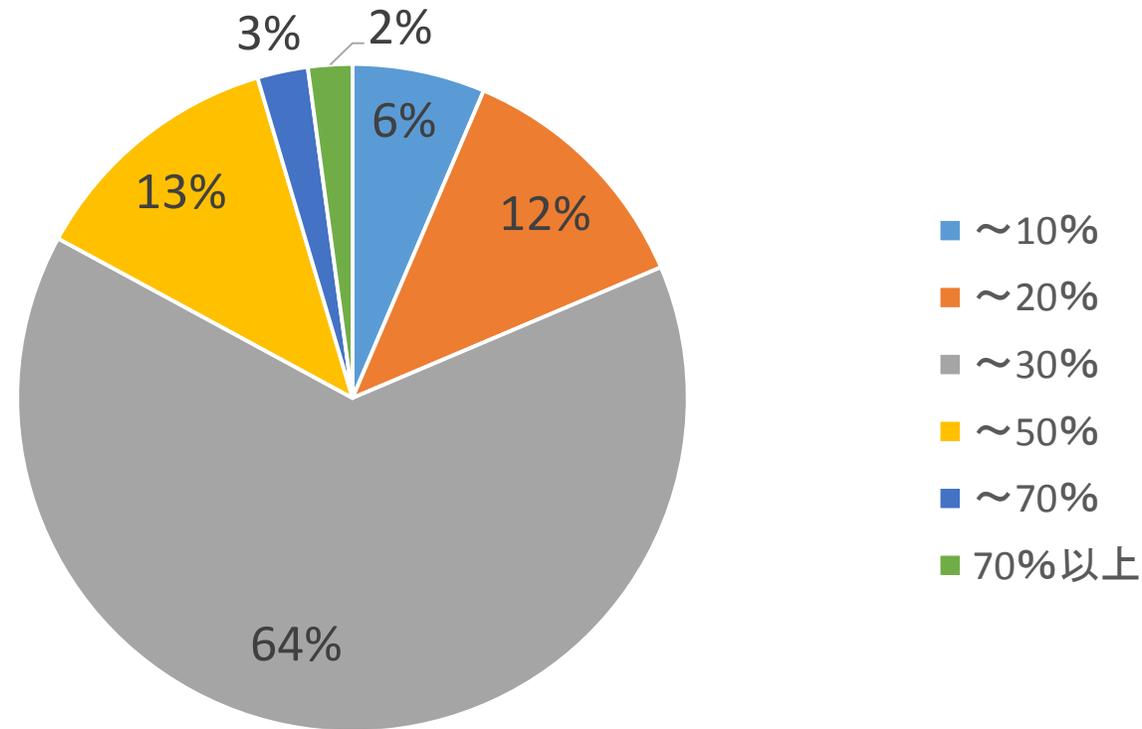
④ー1. 2019年より「増えた」と答えた歯科医院の増加割合
(n=88)



2019年と比較し、レセプト枚数が増えた歯科医院の増加割合は~30%が62%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

④ー2.2019年より「減った」と答えた歯科医院の減少割合 (n=360)

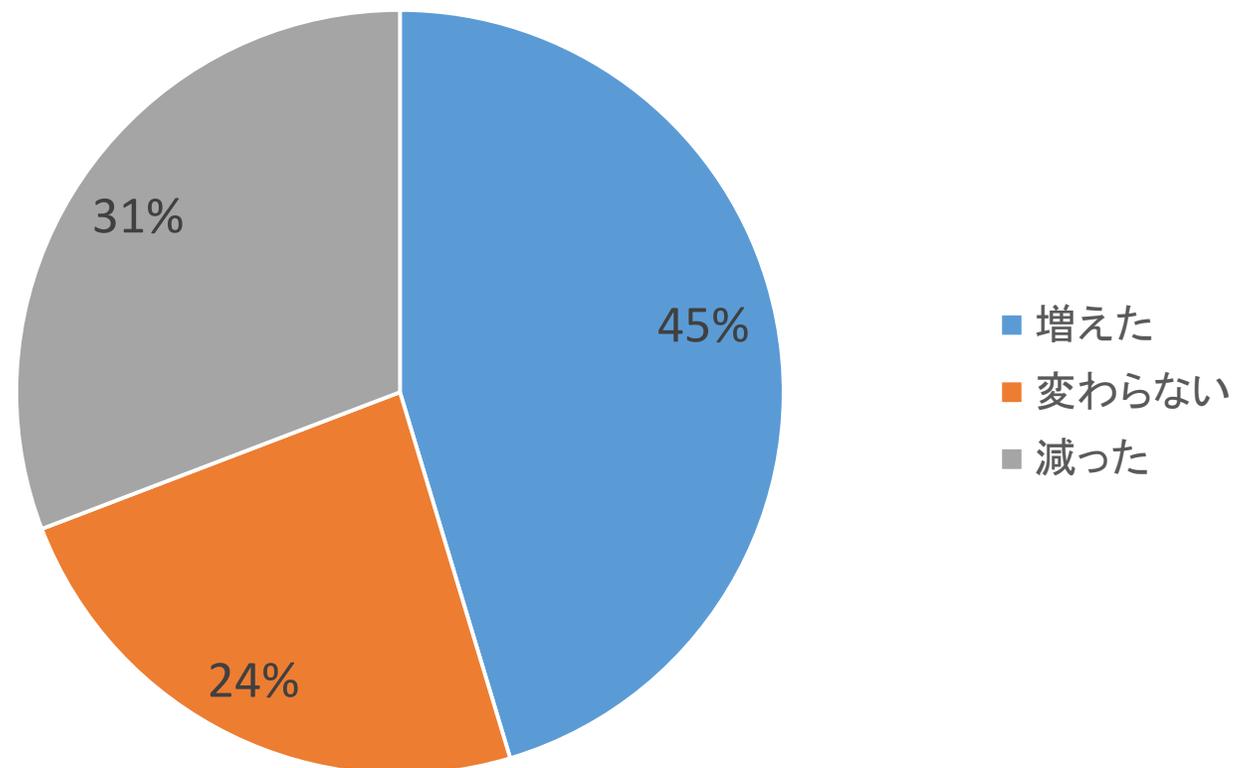


2019年と比較し、レセプト枚数が減った歯科医院の減少割合は～30%が64%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

④ー3 2021年4月と2020年4月のレセプト枚数の比較

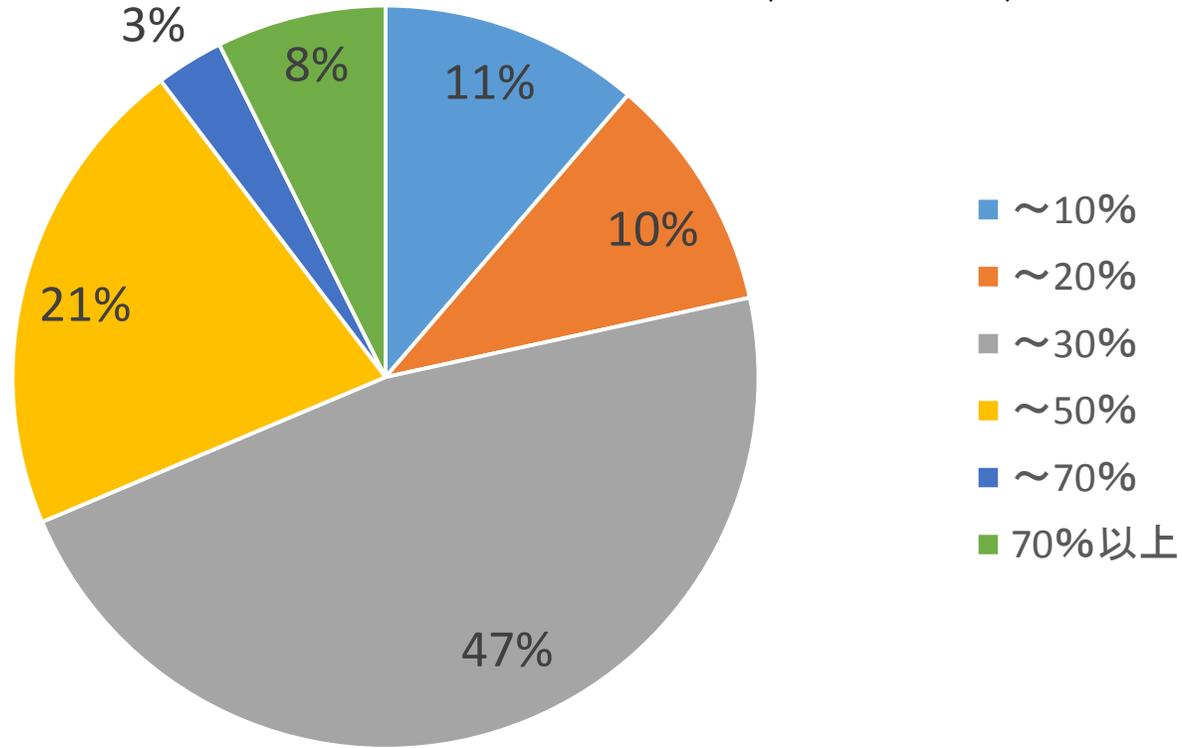
(n=571) ※有効回答のみ集計



2020年と比較し、レセプト枚数が増えたが45%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

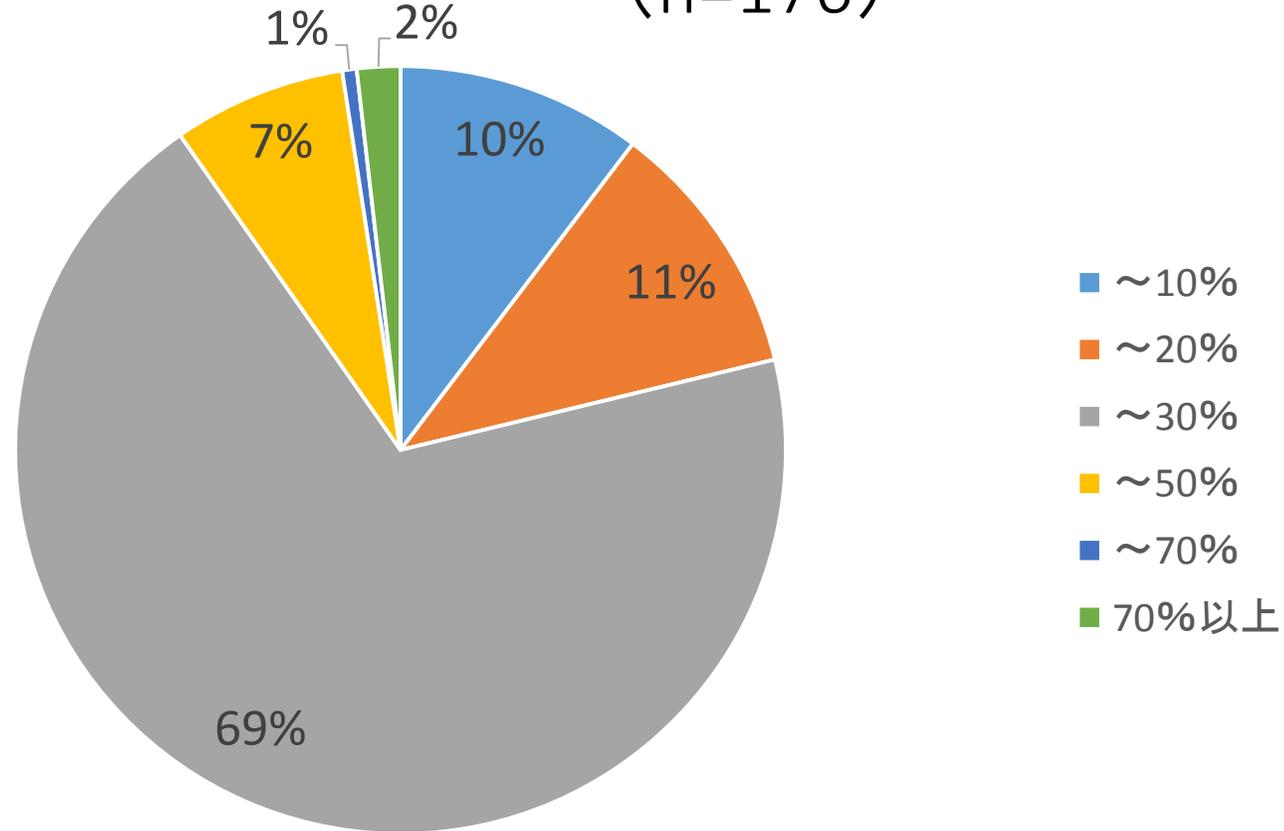
④ー4.2020年より「増えた」と答えた歯科医院の増加割合
(n=259)



2020年と比較し、レセプト枚数が増えた歯科医院の増加割合は~30%が47%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

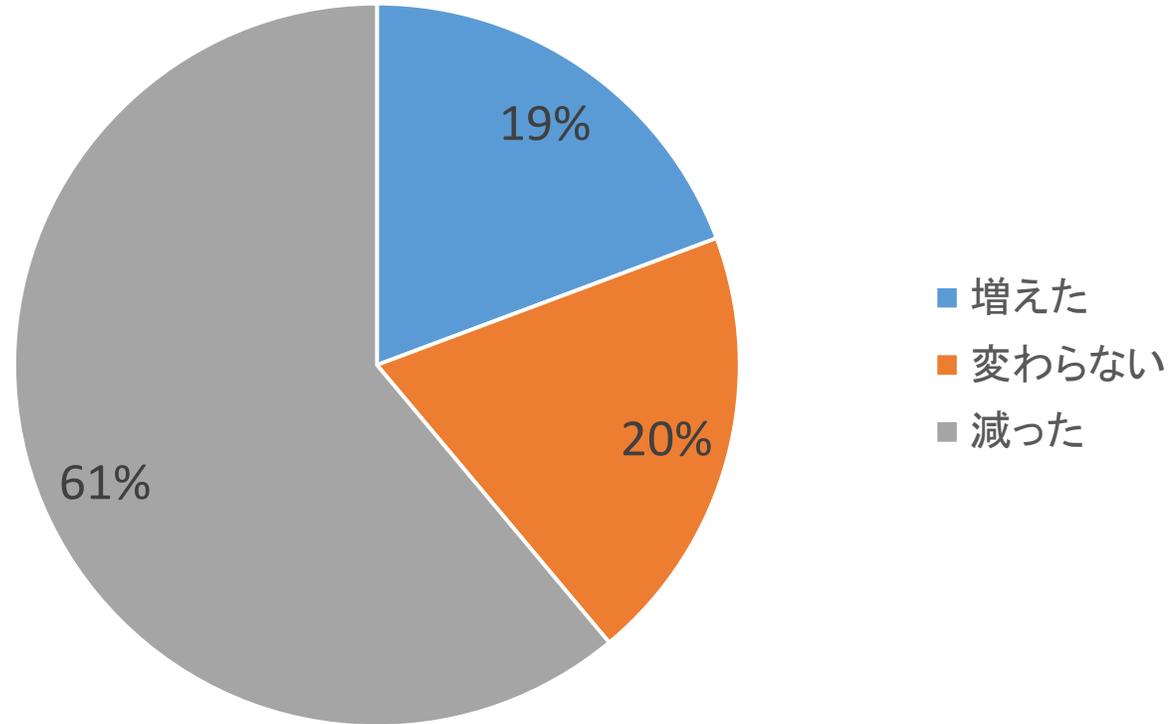
④ー5.2020年より「減った」と答えた歯科医院の減少割合 (n=176)



2020年と比較し、レセプト枚数が減った歯科医院の減少割合は~30%が70%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

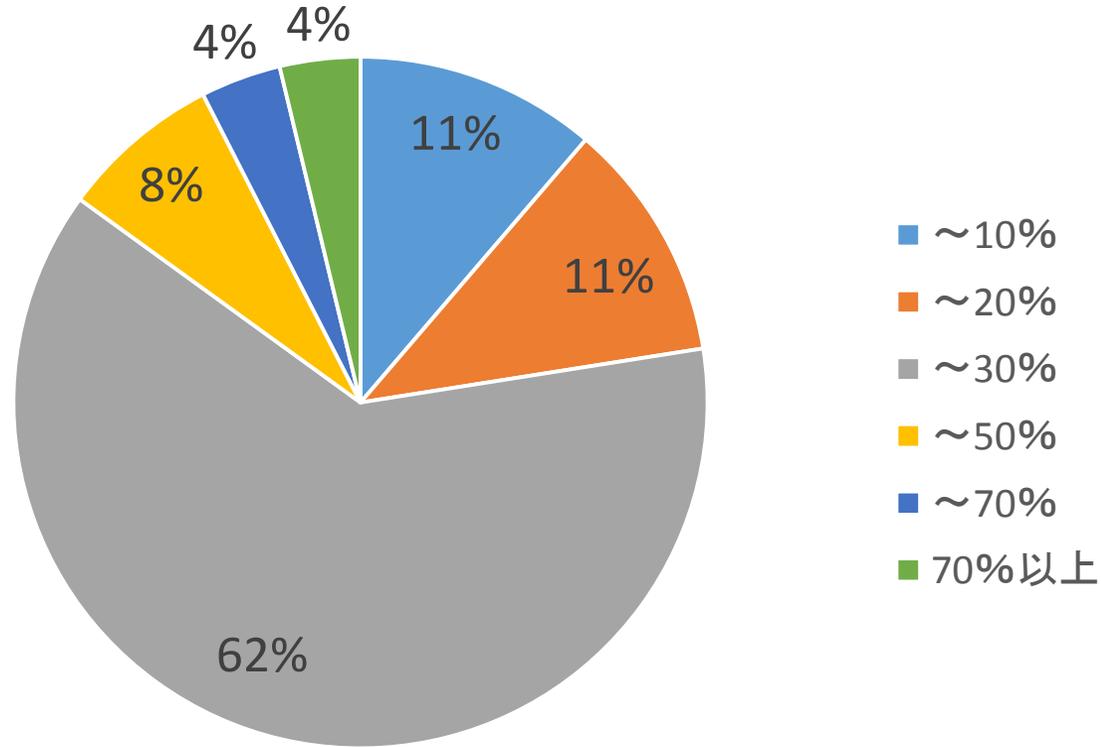
⑤ 2021年4月と2019年4月の医業総収入の比較 (n=565) ※有効回答のみ集計



2019年と比較し、医業総収入が減ったが61%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

⑤ー1. 2019年より「増えた」と答えた歯科医院の増加割合
(n=109)

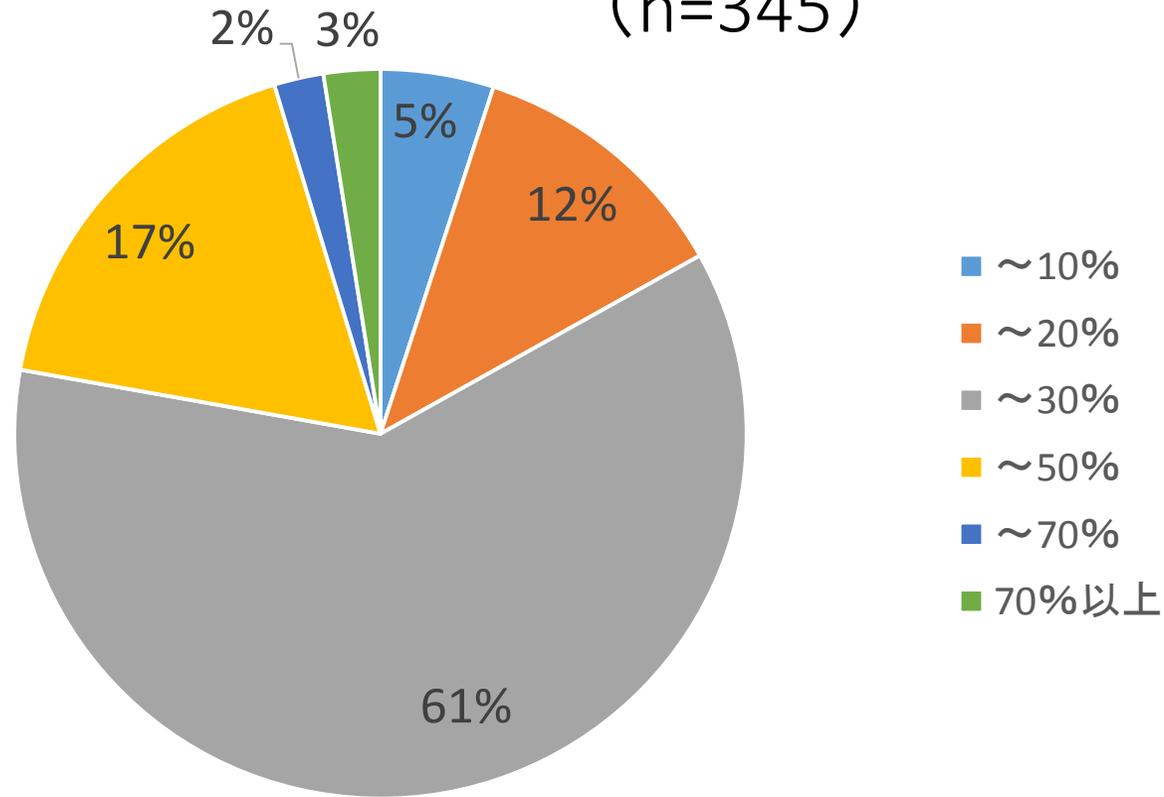


2019年と比較し、医業総収入が増えた歯科医院の増加割合は~30%が62%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

⑤ー2.2019年より「減った」と答えた歯科医院の減少割合

(n=345)

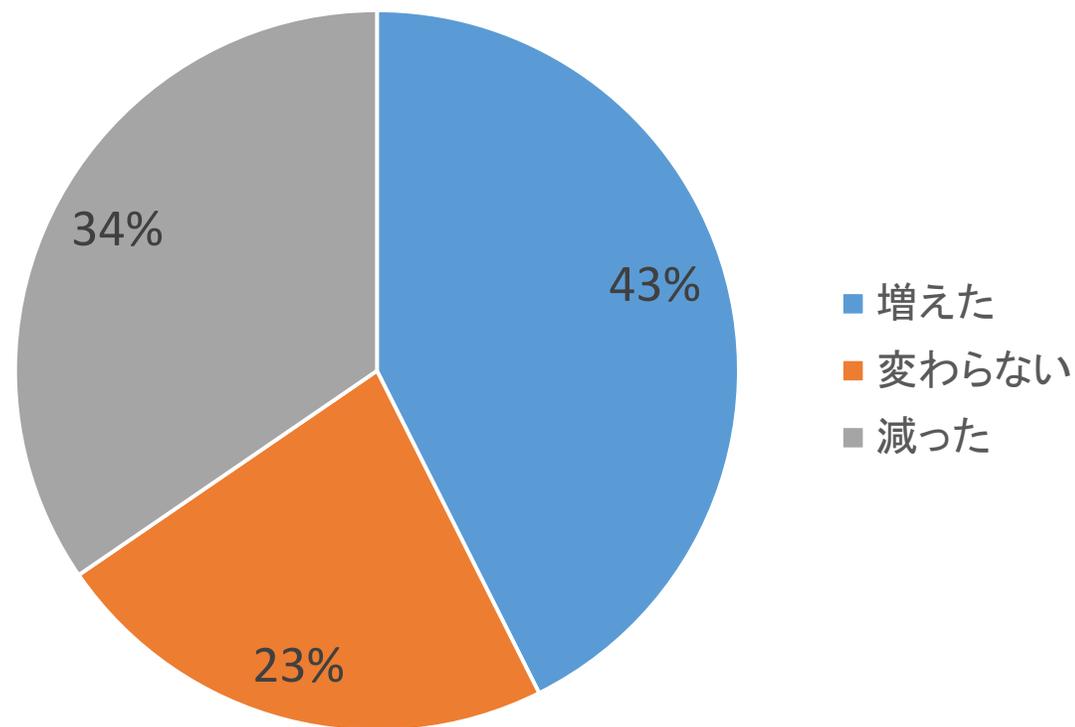


2019年と比較し、医業総収入が減った歯科医院の減少割合は～30%が61%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

⑤-3 2021年4月と2020年4月の医業総収入の比較

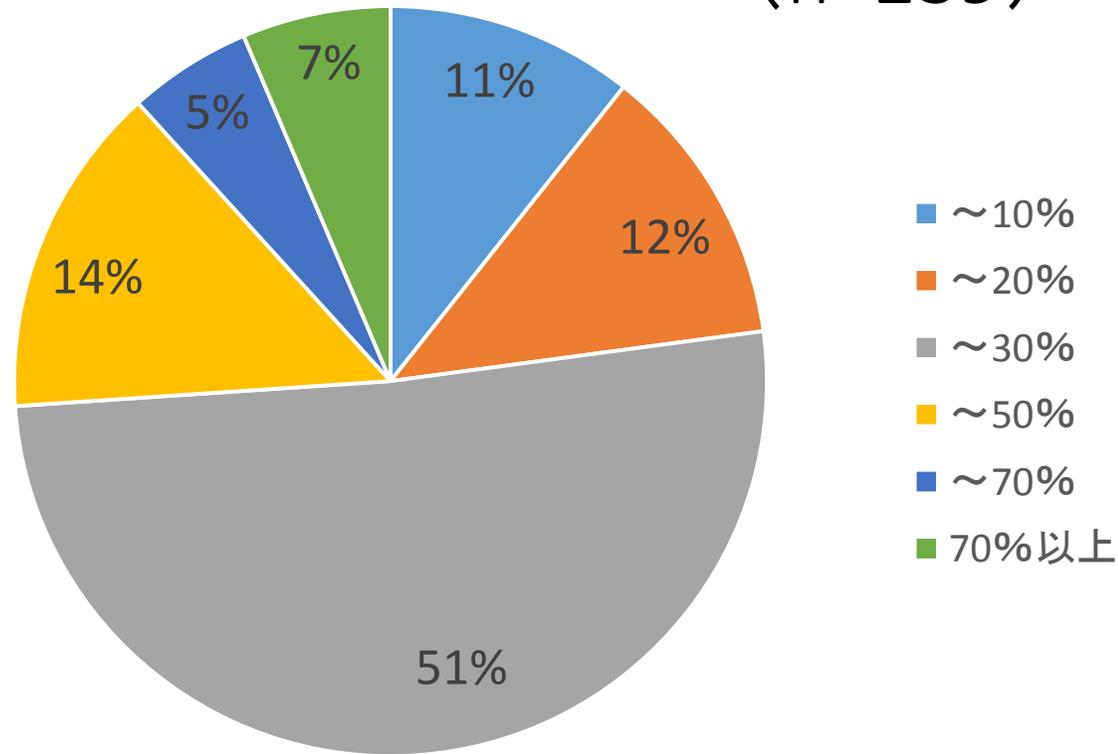
(n=561) ※有効回答のみ集計



2020年と比較し、医業総収入が増えたが43%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

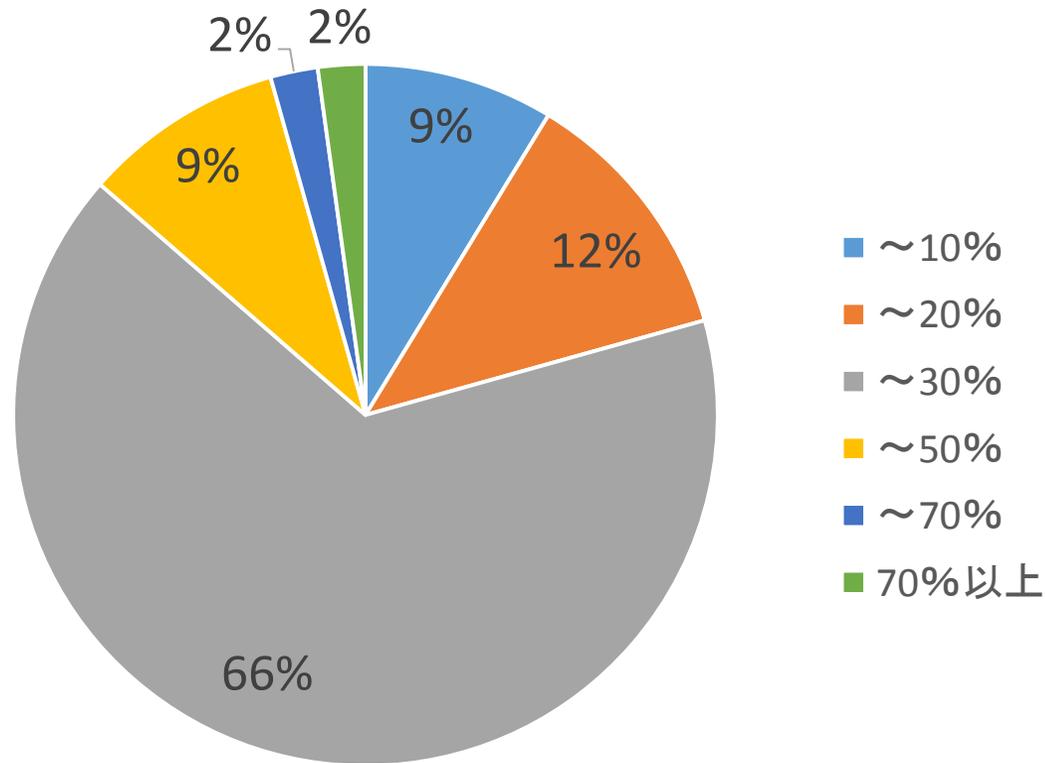
⑤ー4.2020年より「増えた」と答えた歯科医院の増加割合
(n=239)



2020年と比較し、医業総収入が増えた歯科医院の増加割合は~30%が51%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

⑤ー5.2020年より「減った」と答えた歯科医院の減少割合
(n=194)

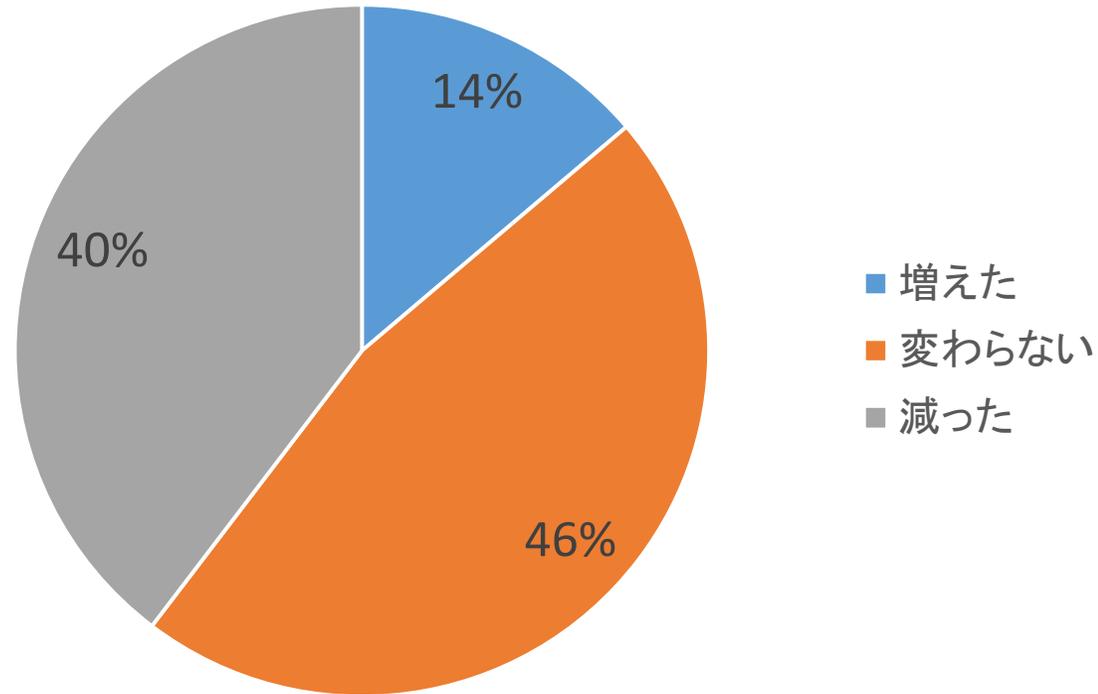


2020年と比較し、医業総収入が減った歯科医院の減少割合は~30%が66%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

⑥2021年4月と2019年4月の訪問診療の比較

(n=174) ※有効回答のみ集計

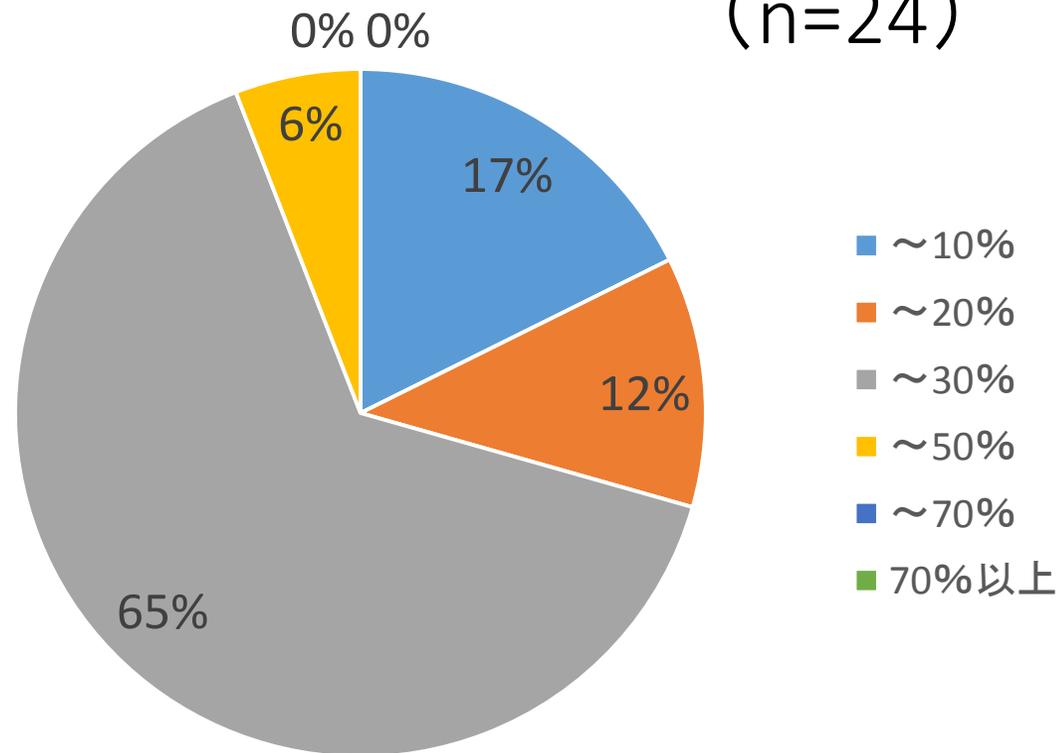


2019年と比較し、訪問診療数は変わらないが46%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

⑥ー1. 2019年より「増えた」と答えた歯科医院の増加割合

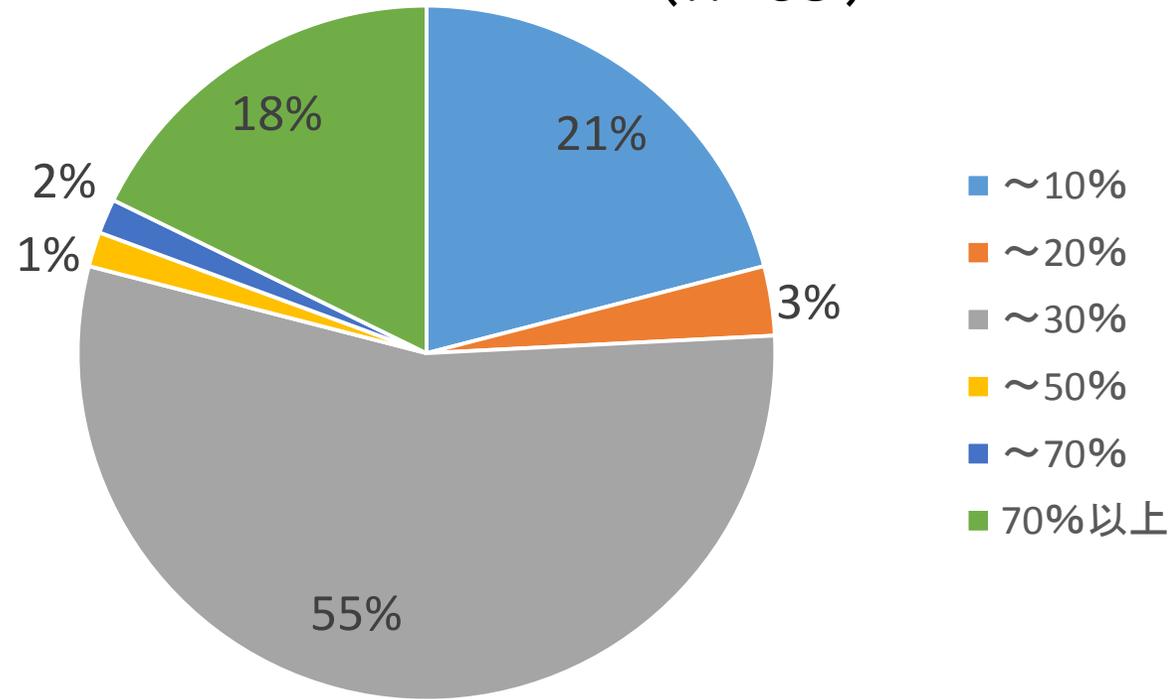
(n=24)



2019年と比較し、訪問診療が増えた歯科医院の増加割合は~30%が65%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

⑥ー2.2019年より「減った」と答えた歯科医院の減少割合 (n=69)

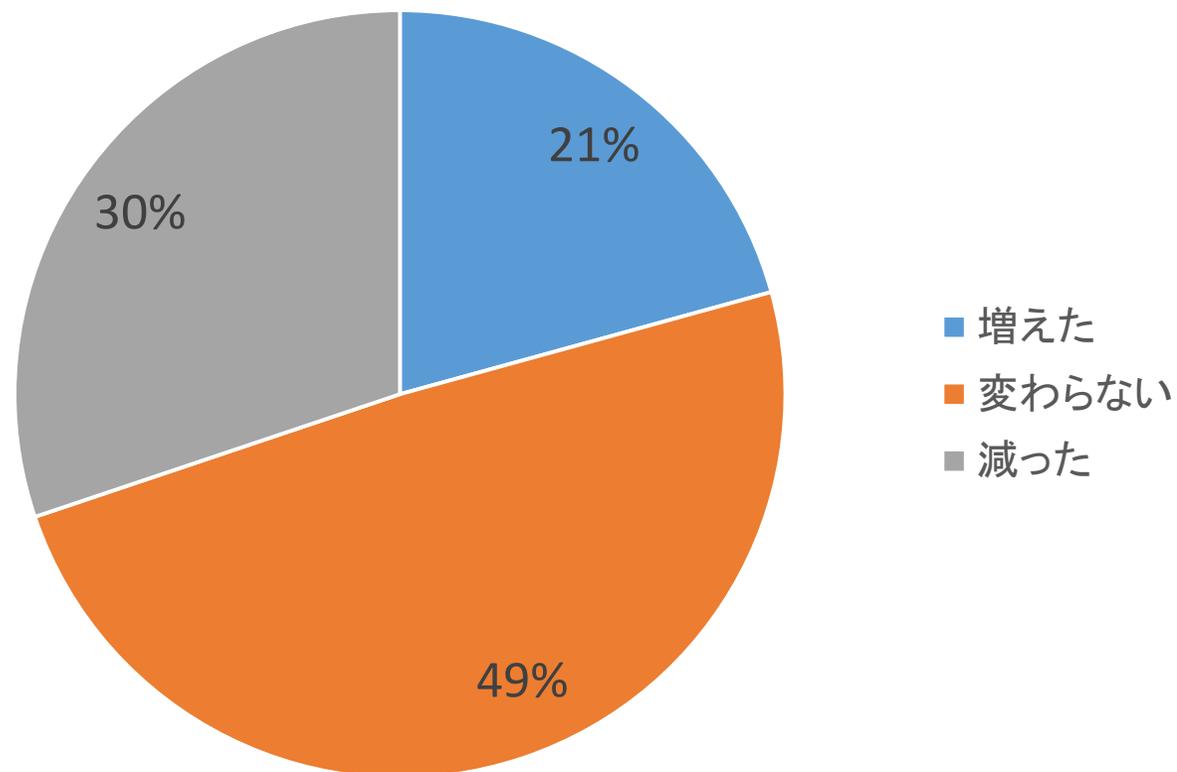


2019年と比較し、訪問診療が減った歯科医院の減少割合は~30%が55%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

③-3 2021年4月と2020年4月の訪問診療の比較

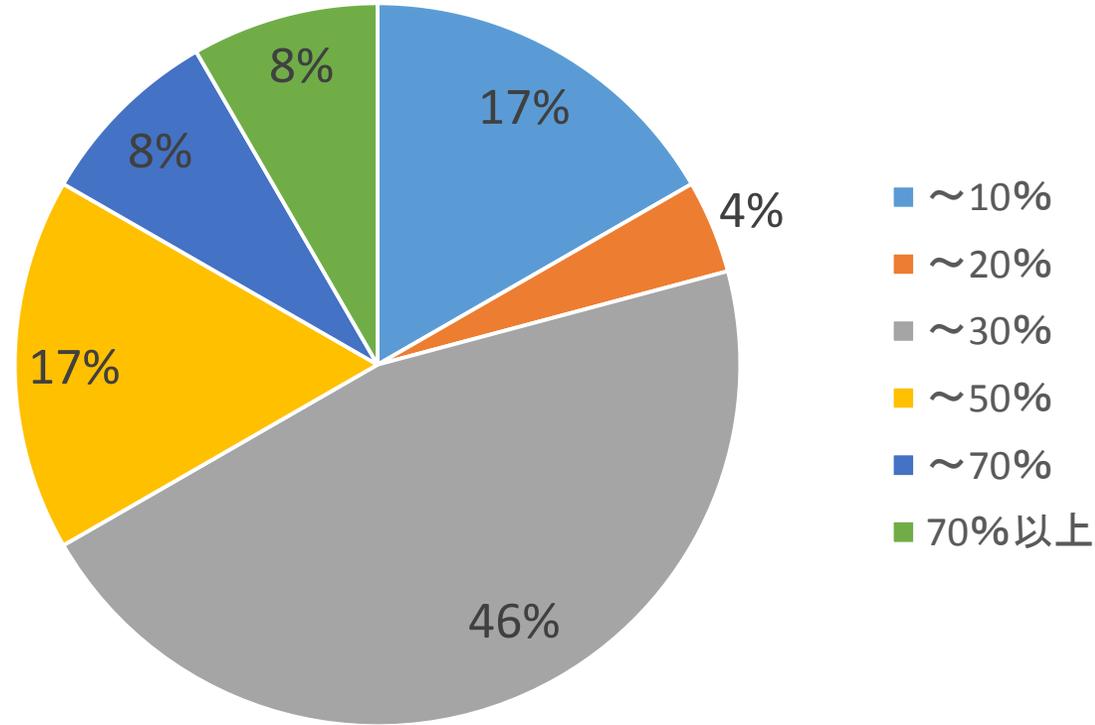
(n=169) ※有効回答のみ集計



2020年と比較し、訪問診療数は変わらないが49%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

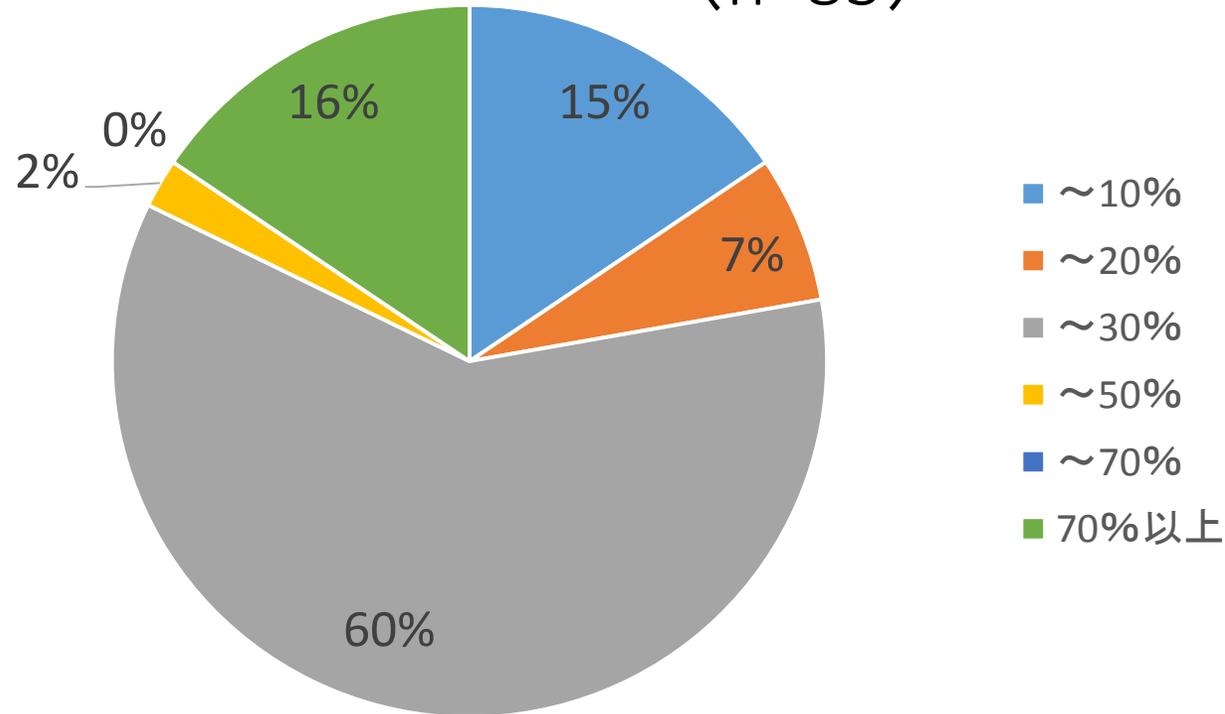
⑥ー4.2020年より「増えた」と答えた歯科医院の増加割合
(n=35)



2020年と比較し、訪問診療が増えた歯科医院の増加割合は~30%が46%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

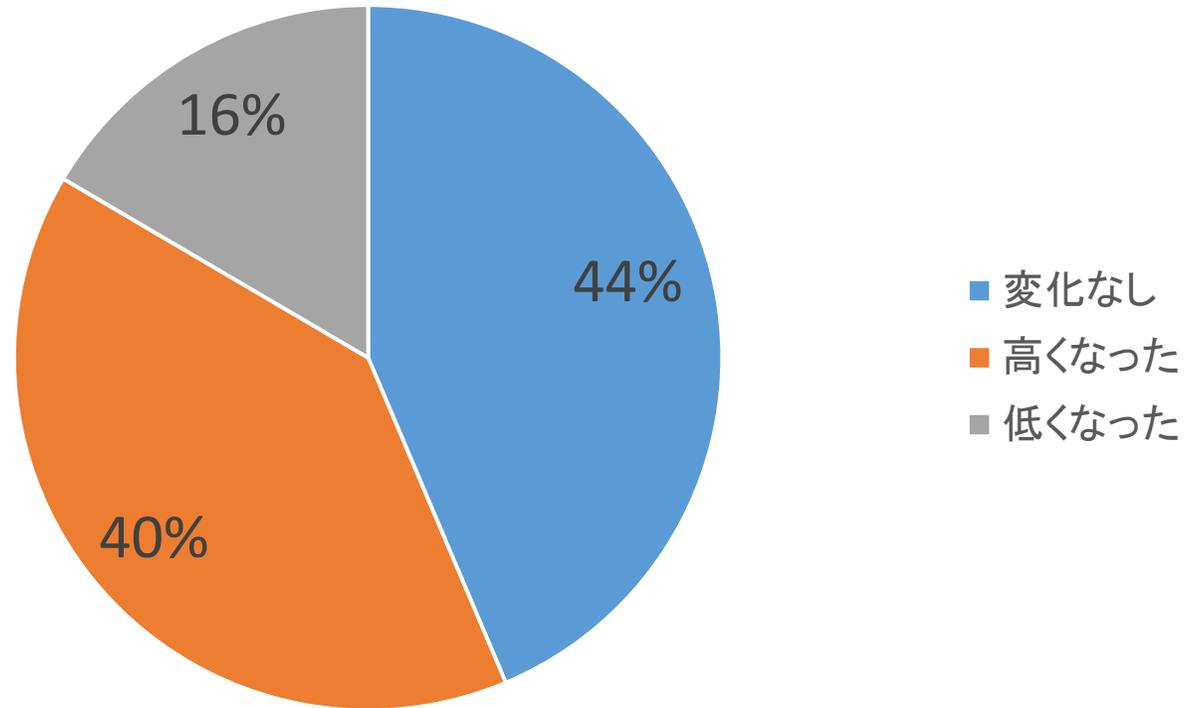
⑥ー5.2020年より「減った」と答えた歯科医院の減少割合
(n=83)



2020年と比較し、訪問診療が減った歯科医院の減少割合は~30%が60%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

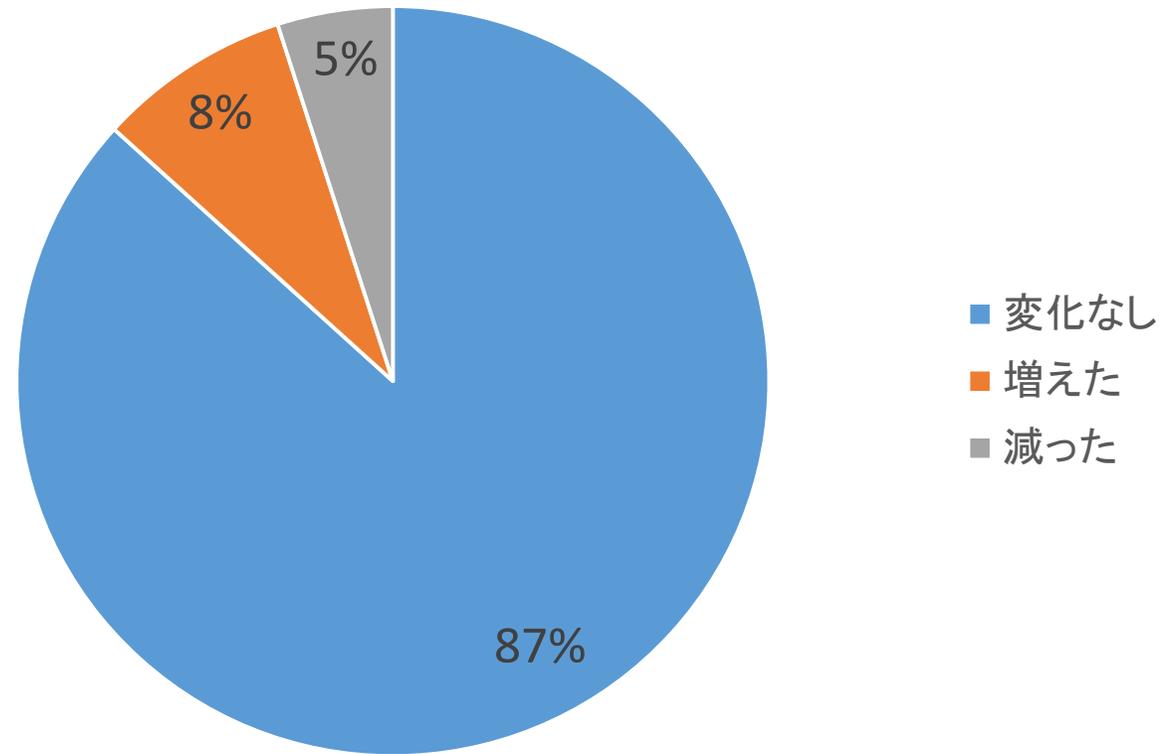
(2) 2020年4月の平均点数(レセプト1枚あたりの点数)との比較
(n=472) ※有効回答のみ集計



2020年と比較し、平均点数(レセプト1枚当たりの点数)は変化なしが44%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

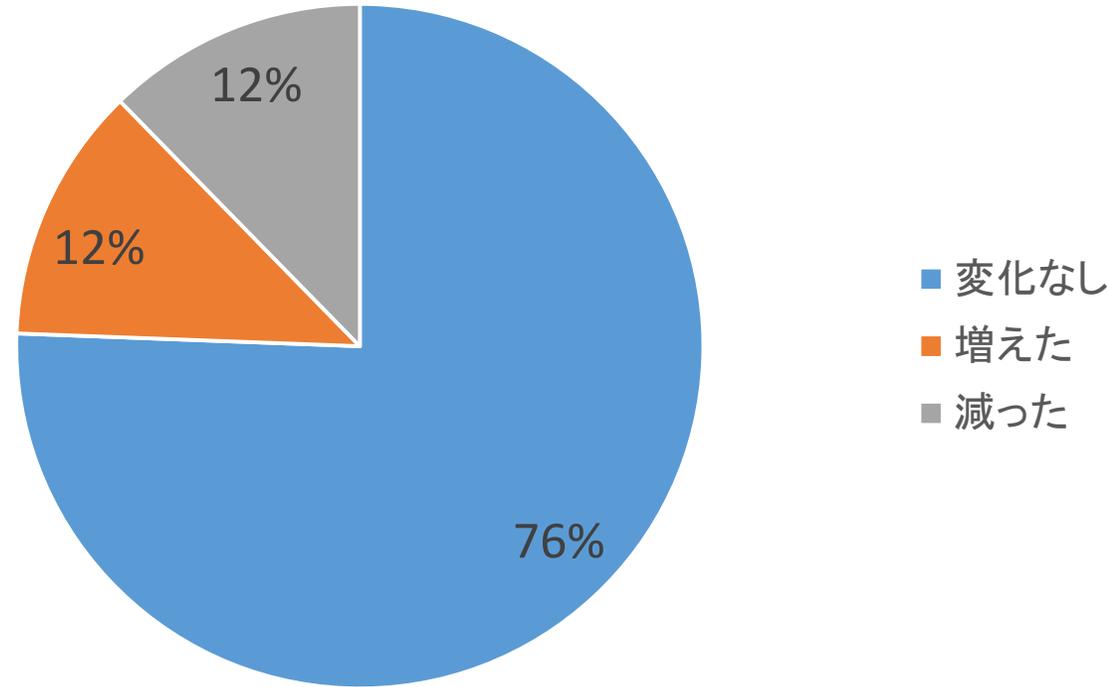
(3)－① 2020年3月以降の勤務医数(n=565) ※有効回答のみ集計



2020年3月以降の勤務医数は変化なしが87%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

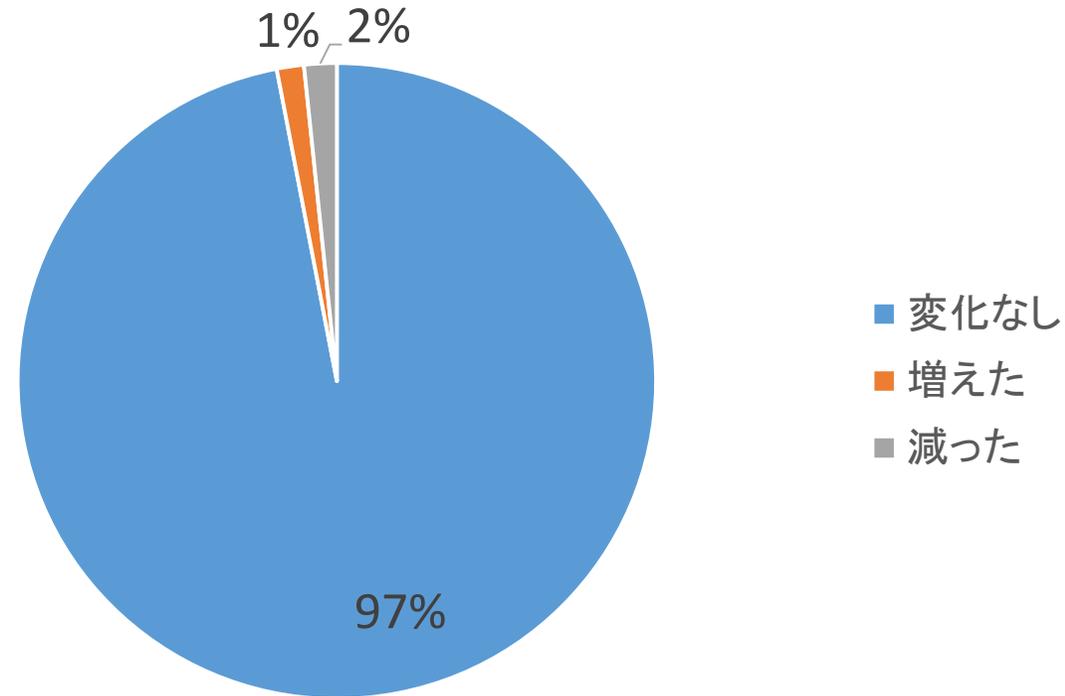
(3)－② 2020年3月以降の歯科衛生士数(n=504) ※有効回答のみ集計



2020年3月以降の歯科衛生士数は変化なしが76%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

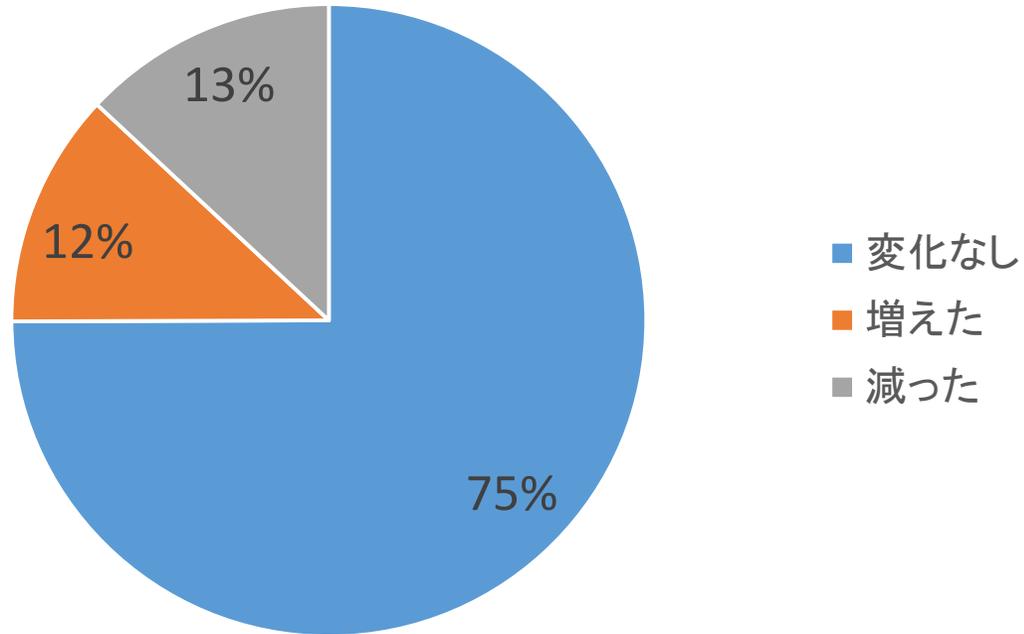
(3)－③ 2020年3月以降の歯科技工士数 (n=364) ※有効回答のみ集計



2020年3月以降の歯科技工士数は変化なしが97%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

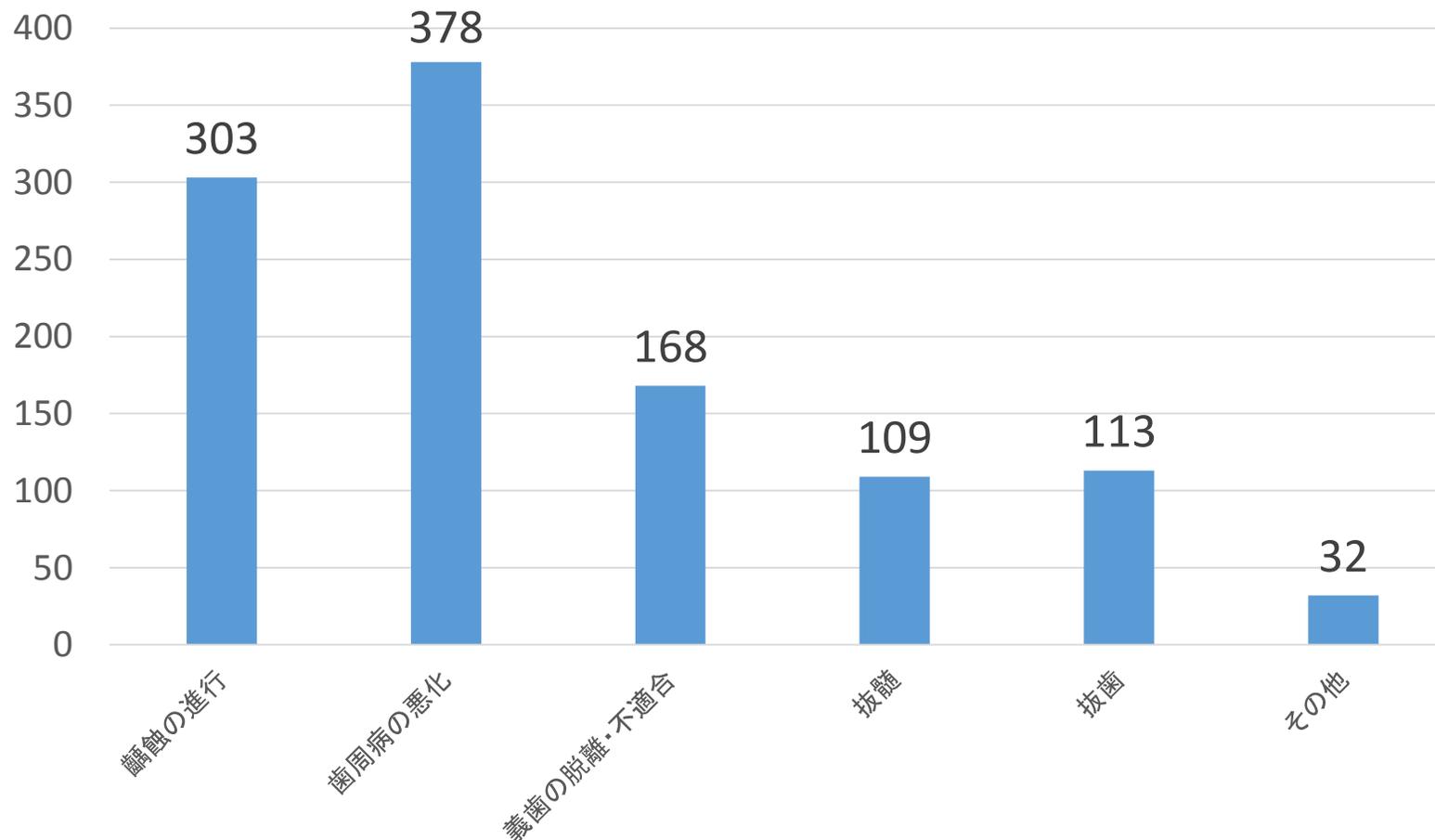
(3)－④ 2020年3月以降の歯科助手数(n=483) ※有効回答のみ集計



2020年3月以降の歯科助手数は変化なしが75%と一番多かった。

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

(4) 新型コロナウイルス感染拡大で患者の症状が悪化しているケース (n=586)



患者の症状が悪化しているケースでは歯周病の悪化が一番多く、次いでう蝕の進行、義歯の脱離不適合となっている

(4) 新型コロナ感染拡大で患者の症状が悪化しているケース その他欄の記載内容

- 歯根 歯冠 破折
- TMD、TCH
- 咬合性外傷
- 不明→口腔乾燥の訴え
- 著変(一)
- 口腔機能低下
- 咬合関連、咬合痛や顎関節症
- ブラキシズム
- クレッチングやブラキシズムによるもの
- 咬合性による疼痛
- 心療内科的な症状
- ブラキシズム
- 歯ぎしり
- 根治中に悪化
- インプラント周囲炎
- つめ物、かぶせ物のダツリ

(4) 新型コロナウイルス感染拡大で患者の症状が悪化しているケース 具体的な内容①

- メンテに来ないのでPが進行している
- 感染拡大の影響で検診の自粛や受診控えが見られる為、来院時には悪化しているケースが多くなっている
- メンテナンスに来る方がへったため
- 医院での感染リスクが高いと思われ、痛くてもがまんしている方が散見されました
- (クリーニング等)定期検診の間隔が長くなった(全体的に)
- 特に訪問患者
- 歯根ハセツ 歯冠ハセツ ストレスによるくいしばり?
- コロナで来院を控えている、痛くなるまでガマンしている、というケースが増えた。
- 新型コロナウイルス禍で定期検診、受診をひかえてモチベーション低下
- 定期検診に来院する回数がへったので、悪化してから来院するので、腫脹、疼痛を訴えるケースが増えた
- 抜ズイと歯の自然脱落が増えた
- 特にウチの患者さんの場合変化ないです もしかして来院されていない人は悪くなっているかもしれません
- 特に高令者、総義歯の不具合が多い
- 口腔内の衛生状態がコロナの長期化により悪化していると思った。
- 年配の方の受診の低下
- 生活が不規則になったこと、ストレス(運動不足)による歯周病の悪化、がみられる
- 来院がへり抜髄ケースが増えた
- 抜ズイと歯の自然脱落が増えた
- Wデントによる抜歯、定検をしていないkrが増えた 学校検診が復活して、少し戻っているように思えます。
- 歯科へのモチベーション(密に対する恐怖がありそう)
- 検診がこれなくなった(リモートなど)
- 来院を控えているため
- 高齢者の受診控えがあり、Pが悪化 ギシなどはこわれてても長く、そのままのケースがある

(4) 新型コロナウイルス感染拡大で患者の症状が悪化しているケース 具体的な内容②

- 新型コロナウイルス感染拡大のため、歯科医院は、飛沫感染しやすいと思われている患者様が多く、来院を延期されたりしている人が多かったため
- 歯科医院に来にくくなったと言われること多々あり 症状進行
- 抜歯後の感染が増加した印象
- リモートの方が増え、飲食が不規則(間食が増えた)になったり、喫煙が増えたりした事。
- 中断された方の状況が不明
- 治療(通院)を避けて期間があいて悪化など
- コロナ禍において医療機関に行くのが怖かった
- コロナの影響なのか、症状が強く現れないと来院されなくなったためと考えます
- 動揺歯が多くなった
- コロナに入ってからメンテナンスに行っておらず、歯周炎の症状を訴えて初診で来院する患者様が多くいる為
- 嚥下キノウ低下
- 歯周病の再発
- 高齢者の方、20代の方でも、控えています
- 自己判断による治療びかえのkrが、宣言が解除されると来院する。
- コロナをきっかけに受診びかえがおき、症状悪化している
- 小児のう蝕進行がステイホームから増えた
- 受診を控えていた分、急患で来院するケースが増えた
- 経済的に厳しい人の口腔環境の悪化
- 特に訪問診療での口腔ケアの回数が減った時期があり、ケアの回数減った時は、口腔内の清掃状態が悪化していた。
- 1年以上あいてるkrが多いと思う
- 歯科医院に行けない
- もともと口腔ケアができていない方は、診療が減ることで汚染が増悪していた。P急発も多くなった印象
- 矯正の為の技工が増えた
- NGの作成

(4) 新型コロナ感染拡大で患者の症状が悪化しているケース 具体的な内容③

- ストレスからかTCH、Brxによる疼痛が増加した様に思います 患者数は減っているが歯ぎしり防止装置の作成は減っていない
- コロナ拡大しているので受診をひかえていたという方が痛みが出るまで放置
- コロナを気にしている方が多いので緊急事態宣言の早期解消を求める
- 昨年受診を控えていた方々が、問題が起こったと来院される割合が増えた
- 中断の患者は増えました。
- 来院が中断し症状が悪化している
- 患者さんが歯科での感染を恐れ自粛してたため
- あまり差は感じられない
- 高齢者が受診を控えているため(1人)
- 外出ひかえ、来院しなかったため症状悪化、特に高齢者は外出しないため、現役世代も出社禁止又は月1-2回、週1~2回出社となり、治療、受診出来ないため来院者数半減！(特に外資系会社著しい)
- TMD
- 定期検診を見送っていたための歯周炎の増加傾向
- 検診を避けていた方や、治療中断の方など
- う蝕の重症度か増えているように思います。
- 患者さんの自己判断で、来院を決めています。
- 精神的な影響を受けている患者が増えた
- 毎月定期的の来院が減ったため。
- コロナによるストレス
- セルフのブラッシングが不十分でう蝕と歯周病の悪化
- 今までは症状があればすぐに来院していた高齢者の中断から再開までの期間が長くなり予後不良になるケースが目につく
- 高齢者の口腔キノー低下
- メンテナンスに定期的に来院していた患者がコロナの影響で来院しなくなったため
- 定期検診を2020年4月~5月全て断っていたら9月まで健検の予約をとらない患者さんが多く、う蝕(C1~2)や歯牙がかけたあと放置などして口腔内の状況が悪くなっていた

(4) 新型コロナウイルス感染拡大で患者の症状が悪化しているケース 具体的な内容④

- 歯牙の破折が増えた
- 子供・お年寄りのう蝕の本数が増え、中高年のPが進行してきている
- コロナを言い訳にしている患者が多い
- つめた物がとれ、そのままにしておいたそうです
- 家族に来院をやめるように言われている。→老人が多い(コロナが心配)
- 新コロかどうかは不明
- 咬合痛・脱離を主訴にしたケースが増えています
- 都外の患者さんで周一電車で30分以上の方々のキャンセル
- 少数ではあるが、来院がとだえた患者がいる
- コロナで歯科医院に来ない。 Per、P急発
- 学校検診の延期により、患者自身での症状悪化に気がつかない。生活習慣の乱れ等
- 定期的なケアをしなくなり長期離脱により症状の悪化が見られる
- 根治中に来院しなくなり、悪化抜歯、こっちのせいにされた
- ストレスによる歯ぎしり、くいしばりより歯周病の悪化→抜歯、義歯ハセツ歯牙ハセツが増加したと思う
- ヒトと会わないので磨きが甘くなったり、マスクによる口呼吸が増え口腔乾燥が増えたこと。 コロナで医院ばなれによるもの
- コロナで来院せず悪化
- テレビでの歯科での感染のキケン放映により、まだ感染しやすいと考えていて来院に恐怖があるのでは？
- 疼痛のような症状がない為になかなか来院しない。
- コロナ感染拡大予防のため通院をひかえた結果口腔内環境が悪化しています。
- 1年以上ぶりに来院される方はCやPが悪化している事が多い(コロナによる外出控えのため)
- P急発の増加(メンテ不可で)
- コロナ禍で通院をのぼすことでう蝕や歯周病が進行しているケースが多くみれる
- 齲蝕があるがわかっていても痛みがないので放置

(4) 新型コロナウイルス感染拡大で患者の症状が悪化しているケース 具体的な内容⑤

- 定期的なfollow-up不足で悪化したケースが多い。
- ウ蝕で漏みが出てる抜髄に成るケースが多かった
- ひどくなってから来院される患者さんが多い。
- これまで定期的に来ていた方が外出自粛して、そこまですい症状でないと思われてなかった。
- かみしめで破折多い
- 昨年5月のことですが、12才以下の子どもをもつ母親が痛みの極限まで我慢していたケースが2つありました
- 来院回数の変化によるもの
- ブラッシング不良気分障害によるものか？
- 来院する回数減少の為
- 原因のはっきりしない咬合不調、Hys、着色が気になる等を訴える ウ蝕と着色の区別が難しい
- MRONJ発生、PやPerの悪化 放置されていた
- 症状が出ないと来院しない
- お年寄りが家族に反対されて来院を躊躇ったため
- 手入れが悪い
- メンテナンスに来れなくなり歯周病の悪化があり、そのため蝕歯にトラブルをかかえるなど。
- 高齢者がCOVID感染を懸念し来院をひかえているからと思われる
- コロナ感染症が怖いので休んでいた患者さんは一定期間清掃不備で悪化していると感じた
- ブラキサーが増え歯牙破折が非常に多い
- 外傷を歯がかけてもコロナ禍の為来院せずマスクですましていたが痛みがひどくなり来院するケースなどがあつた。
- 検診の場合、待合室での接触をきらいコロナがおちつくまで延期の患者様が多い
- 受診抑制が少なくともおきていると感じる 定期検診の来院が少なくなっている
- 定期メンテナンスの期間が長くなってしまった為
- コロナで足が遠のくため
- 特に大きく目に見えての変化はなし

(4) 新型コロナウイルス感染拡大で患者の症状が悪化しているケース 具体的な内容⑥

- 受診を控えたため歯周病等の進行が進んでしまった
- 手入れが悪い
- 定期検診患者の来院抑制が見られたため
- 痛みを伴わない歯周病を放置したため
- 患者様自らで口腔内管理の出来る年齢では無くなってきています。
- 影響なしの選択ができない
- 特に高齢者は、コロナ感染を恐れて久しぶりに来院した方が多い。
- メンテナンスで、来院がなくなった分根面カリエスの増加 クレンジング原因と思われる症状
- 昨年春からの受診敬遠の為、悪化するまで来院しなかった。
- "定期的来院を控えているための口腔内環境の悪化。コロナによる収入減からの家計費への圧迫。"
- 咬合性外傷 破折
- ストレスなのか悪化が見られました。
- ストレスなのか悪化が見られました。
- コロナに慎重な方は歯科受診も含め外出を控えてるみたいです。
- 受診控え
- 昨年春からの受診敬遠の為、悪化するまで来院しなかった。
- メンテナンス機会の減少。マスク、ストレスによるTCH増加
- 日本のコロナ煽り報道がA級戦犯
- ストレスによるブラキシズム、ステイホームによるダラダラ食い
- 患者さんが、コロナの、感染リスクを、気にしている、だけでなく、経済的理由に、より、診察を、ひかえている感じです。
- コロナで怖くてすぐこれなかった
- 生活全般に余裕がない
- 清掃状況がかなり不良です。
- 症状悪化は特にない。選択必須なのでとりあえずこの選択肢を選んだだけ

(4) 新型コロナウイルス感染拡大で患者の症状が悪化しているケース 具体的な内容⑦

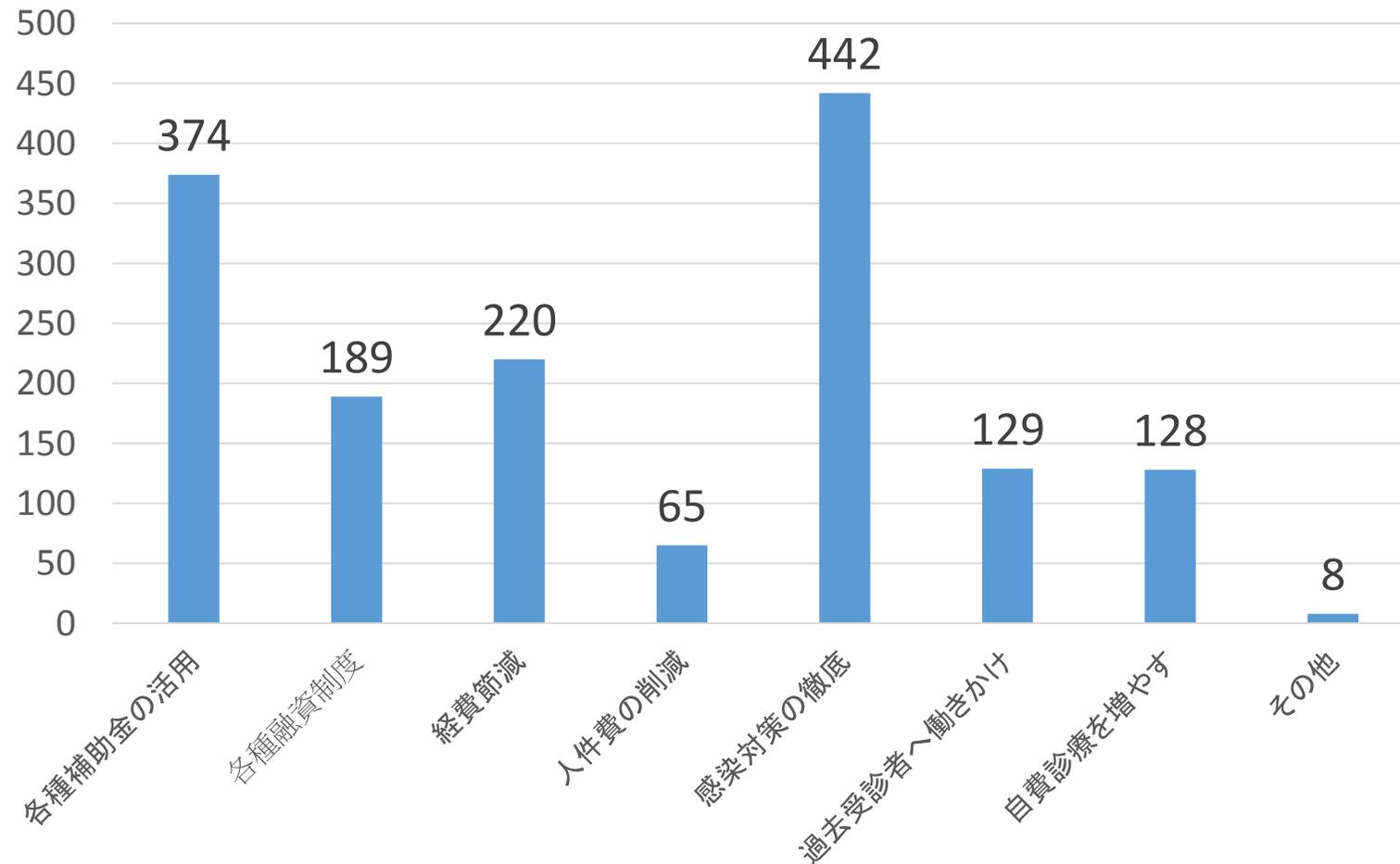
- 2020年受診を控えられた時期があった為
- 定期的メンテナンスに来ない患者が増えた。
- 口腔内の状況がもともと悪くてメンテナンスを強くお勧めしていた患者さんほど、コロナを怖がって来院を中断している
- メインテナンスの中断
- コロナが怖いから行くのを控えていた、という人が目立った
- コロナ禍前から感染症対策はしっかりしているので安心した治療提供をしています。テレビ・ネットニュースで歯科医院が感染しやすい、危ないなどと流れた後から、来院されない患者さまはそれを信じているからだと思います。久しぶりに来院された患者さまの口腔内状態は、以前より悪化しているのが目立ちます。
- コロナへの感染を恐れて来院を控えた結果
- 唾液減少によるものと思われる
- メインテナンスのコロナ控え
- 自覚症状のない患者の定期的来院間隔の長期化による症状の悪化が散見される
- コロナ鬱
- 自粛による受診中断、SPT中断
- 特に高齢者に受診控えがあった
- 定期健診に来てた人で来なくなった人がそこそこいる
- コロナによる受診控え
- 通院控えによる放置
- ストレスにより破折や歯周病が確実に増えている
- 定期健診やメンテナンスに来なくなった
- 新型コロナウイルスの影響で受診を控えたため
- 外出ができないから耐えられる限界まで我慢するため症状が悪化
- ブラキシズム つまみ食い 他人に見られない
- 感染リスクや経済的理由
- "高齢の方、電車を使って来院される患者様は、来院するのが怖い(人が多いので)。感染者数が減ってから来院したい、と言ってアポイントの先延ばしを繰り返していた。"
- 受診控え

(4) 新型コロナウイルス感染拡大で患者の症状が悪化しているケース 具体的な内容⑧

- マスクか？
- 巣籠もりの影響か
- 定期検診に来なくなった方が増えたため
- 定期的な管理が出来ず、患者の自覚症状の出現で来院する事が増えた。
- 定期健診中断者の増加
- 定期検診が中断している患者さんがいる。
- 受診頻度が減った

8、コロナ禍での医院の対応と今後の経営の見通し

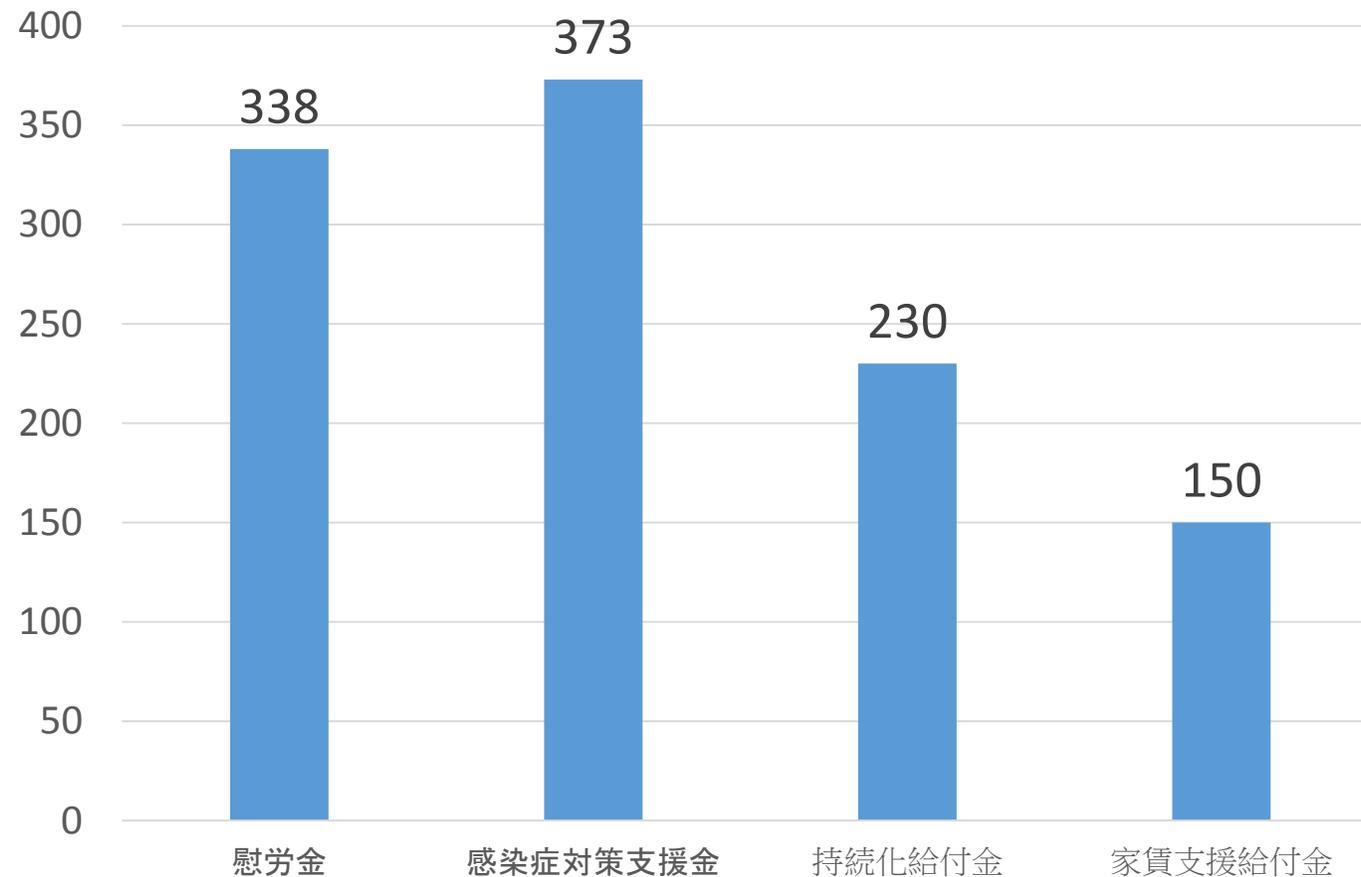
(1) 医院としての対応 (n=586)



対応としては感染対策の徹底が一番多く、次いで各種補助金の活用、経費節減となっている。

8、コロナ禍での医院の対応と今後の経営の見通し

(1) - 1 使った補助金の種類 (n=374)

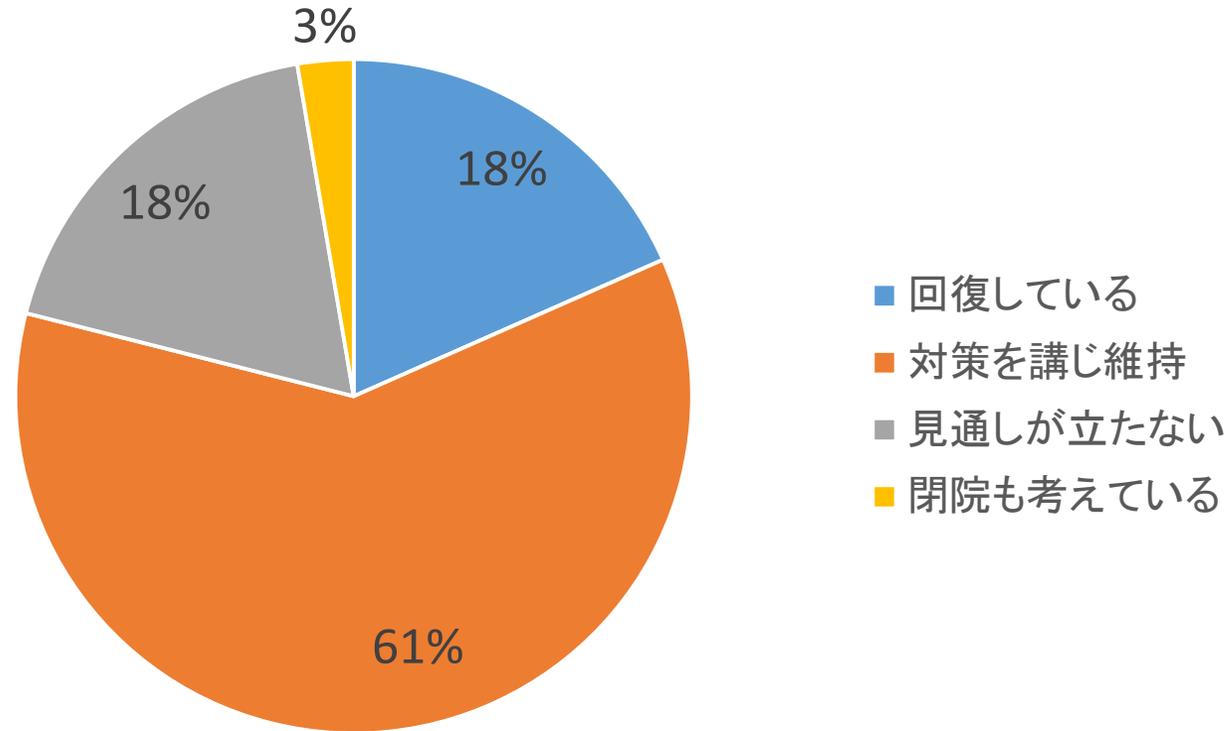


使った補助金の種類は感染症対策支援金が一番多く、次いで慰労金、持続化給付金となっている。

(1) 医院としての対応 その他欄の記載内容

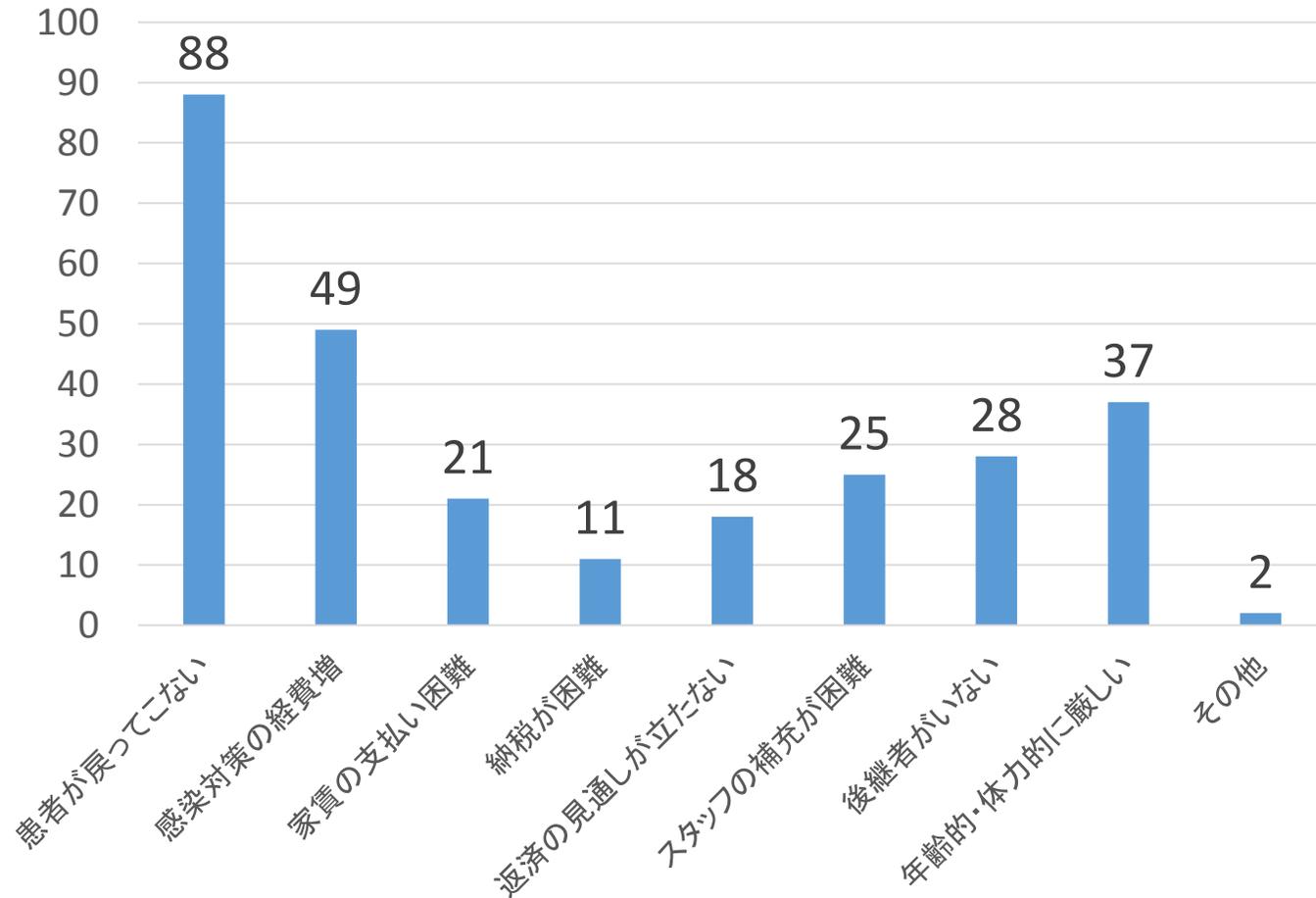
- 従来通り、患者に対して誠実に向き合う診療を継続
- 定期検診の期間を患者さんに決めてもらう様にした
- とにかく来院される患者さんをしっかり治療する
- なんであれコロナが終息しなければどうにもならない
- 患者指導
- ワクチン接種

8、コロナ禍での医院の対応と今後の経営の見通し (2) 今後の経営の見通しについて (n=561) ※有効回答のみ集計



今後の見通しについては、対策を講じ維持が一番多かった。

8、コロナ禍での医院の対応と今後の経営の見通し (2) - 1 回復の見通しが立たない理由 (n=118)



見通しが立たない理由としては患者が戻ってこないが一番多く、次いで感染対策の負担増が挙げられている。

(2) 今後の経営の見通しについて 具体的な内容①

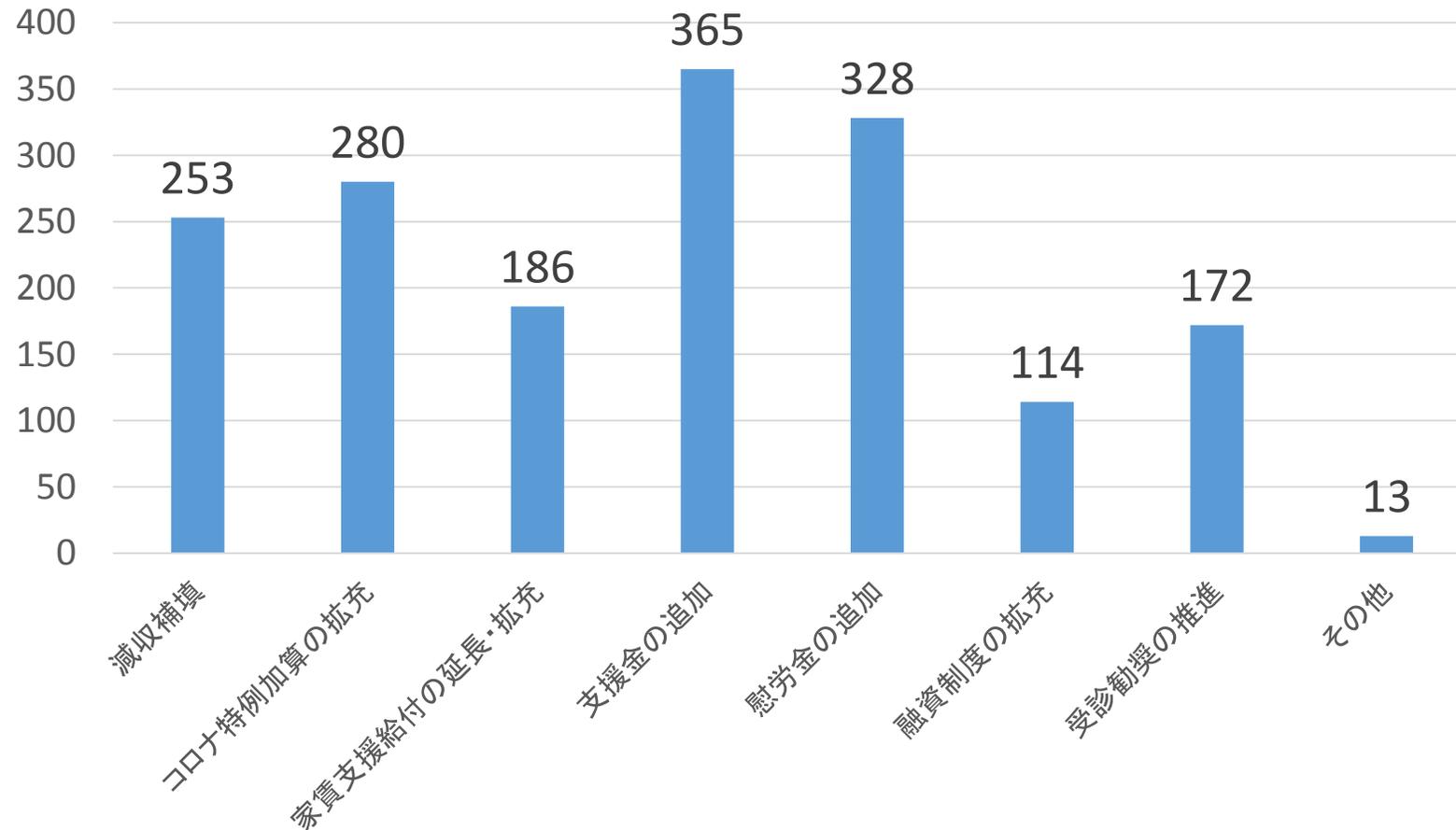
- 状況が変わると患者数に変化があるため
- 歯科助手、歯科衛生士ともになかなか優秀な人材が確保できない
- オフィス街なので患者さんがリモートでの仕事が多く、来院が減少してる。
- 今後のコロナの動向と国の政策の方向性が不明なので
- 上記同様、歯科での感染を恐れ自粛のため
- 患者数減少で従来(コロナ以前)の経営が困難(テナント料、人件費、金属パラ価額高とう) コロナ背景で自費も減少
- 感染対策として患者さん同志の接触を避けるためにアポイントの間をあけ、清掃するため、診療出来る件数が激減、一件当たりの時間を長くとるため、保険点数が上がり、個別指導の対象となる
- オフィス街のため、近隣の企業がリモートワークをしているので、コロナ後も昔の様に患者がこないと思っているため
- 患者数がすくなくメドたたない
- 衛生工の人数が足りない
- 疲れた
- 商業街や繁華街も以前のように客足はないので希望がもてない 2代目3代目は外へ働きにいつている
- 患者様層が60-70才以上が7~8割を占めている
- 医療従事者への公的支援金が殆どない。
- このままではじり貧
- セキュリティー対策ないままにマイナンバー管理するのは不可能
- 感染拡大対策の総合的結果(政府の支援等ないも含め)として、医院収入の激減が必要支出に対応できない。
- 向こう10年はコロナ以前に戻らない事が確実な為
- 患者数が増えないと経営に響いてくる
- ワクチンの接種者数の拡大の遅れ
- 今まで定期検診などで来院していた患者がコロナ禍で来院しない
- 年齢的、体調が悪いので厳しい！！

(2) 今後の経営の見通しについて 具体的な内容②

- 患者の一部で二時的な診療のみを望むケースが増え計画的により良い診療計画がたてられない
- ビジネス街のためテレワークが多くなり患者さんが会社に来なくなり来院もしなくなる
- 高齢者が多く年齢的な事と通院に不安を感じている様
- 保険外診療項目等の保険診療への適応拡大は不要。今、適応されている保険診療行為の再評価を求む。
- ワクチン接種がひととおりに行き渡るのがいつになるのかわからない
- 患者さんが感染の恐怖を感じている。
- "GW明けから、緊急事態宣言の為なのか電話の回数も減っている。体力的というより、精神的に厳しい。"
- 来院している患者がもともと高齢者で亡くなったり、施設に入ったり、お子様の所に行ってしまった為
- コロナの終息が見えてこないのが不安です。全国民にワクチン接種が完了するとコロナの終息になる事を願っています。そこから経済が回復しないと患者も戻ってこないと思います。無理にオリンピックを開催すべきではないと考えます。
- ストレスに耐えきれない年代になってきた。
- コロナに対する集団免疫ができないと、自由に出歩いたりできないから。
- 患者数が少ない
- 感染リスクから歯科医院への通院に抵抗を感じている方が多い
- "近隣に歯科医院が多く一度他院に通院した患者が戻ってくるのがほぼ無い後継者がいないために設備投資に二の足をふんでしまう"
- 初診、再初診、リコール患者数が明らかに減っている
- 老後の資金がとても心配
- オフィス街でありテレワークと共に減少しました。いまだ緊急事態宣言が続いていて遠方から患者さんは全く来なくなり、去年より今が一番ひどい状態です。もともと来たくないと思っている患者さんが緊急事態に乗じて離脱し、痛くなければいいと戻って来ない状態だと思います。いらっしゃるのは定期的にはちゃんとメンテナンスにいらっしゃる方ばかりで、収入にはつながっていません。
- 新規開業の為、何とも言えない

9. 歯科医業経営を改善するために望む方策

(1) コロナ禍の対応 (n=586)



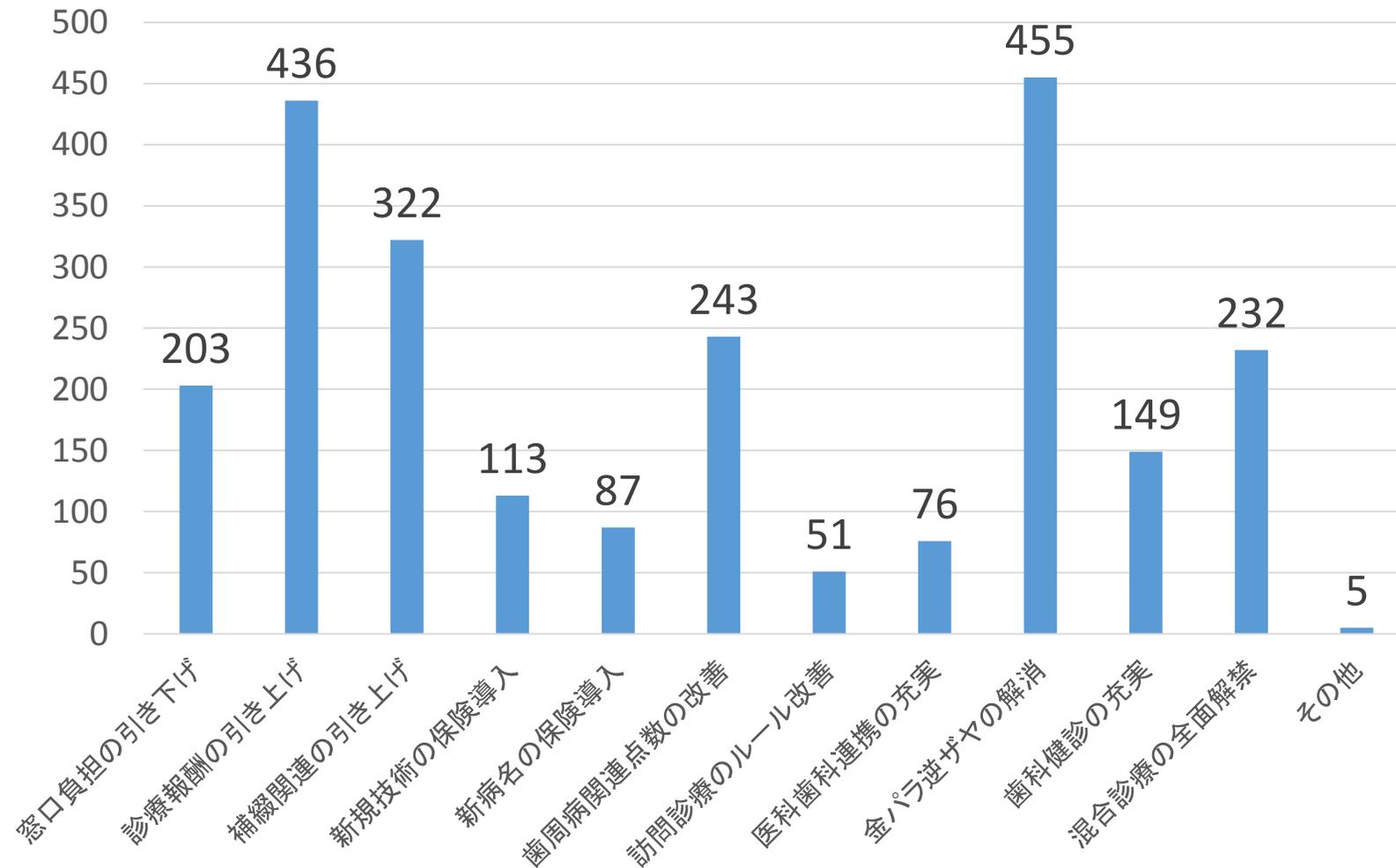
コロナ禍の対応で望む方策としては支援金の追加が一番多く、次いで慰労金の追加、コロナ特例加算の拡充となった。

(1) コロナ禍の対応で求める方策について 具体的な内容

- 外来環、初再診料の増点
- 集団、個別指導の見直し→平均点数
- 感染症対策支援金の再発令
- 減税
- 緊急事態宣言の早期撤回
- 減税
- 所得税、地方税を含む各税減税
- 国の支援は子、孫に借金をどんどん増加させるのみです
- 税金関係の支払い免除等
- 持続化給付金(50%の条件を40%に！！)
- ワクチン接種

9. 歯科医業経営を改善するために望む方策

(2) 歯科医業改善のための方策 (n=586)



今後望むこととしては、金パラの逆ザヤの解消が一番多く、次いで診療報酬の引き上げが上がった。

(2) 歯科医業改善で求める方策について 具体的な内容

- 実態に沿った点数配分
- 技術料の拡充
- 根管治療点数の大幅増加
- 窓口負担割合原則2割
- 口腔環境と全身疾患の関係など。健康寿命が口腔との関連啓蒙
- 医科歯科格差是正
- 患者さんのPCR検査も、保険診療の点数で、1、2週間に、一度検査させてもらいたい。お互いに感染するのもこわいし。
- 地位の向上のため、長期的な視野を持つ様に、歯科医師の再教育、定期的な再試験
- は反対。(税負担が大きくなるため)
- 金パラは保険から外す。
- CAD・CAM冠、歯列がどの場合でも認める。
- 歯科医療保険制度の撤廃・全診療自由診療化
- 初診と再診料を医科と同じにする
- 肝炎患者などの加算
- 根管治療関連点数の引き上げ、リグロスの点数の引き上げ
- メタルフリー治療の保険適応拡大粘膜疾患に対する診断加算
- 根治関連の点数改善

自由記載欄①

- 歯科検診の推進をし、歯周病の予防関連の点数の見直し導入等を行なってほしい
- 義歯関連:調整の点数、算定回数増
- 義歯をたのめる所がへっているため、良い義歯を作ってあげることができない 義歯などの点数をあげてもらうことで技工士さんの確保が急務と思われる
- Help!
- 金パラの問題は急務です!
- コロナの長期化により患者(既ぞん患者さん)2人が戻ってこないのので、歯科治療や定期健診の重要性をもっとアピールする必要がある。
- 抜歯、外科、義歯、パラなど赤字状態を押しつけて経営させるのは納得いなか
- 高齢の患者が来なくなり、ビジネス街に通院されてた方が転院してくるケースが最近多い。
- 2020年5月開業したため比較できません
- 金パラなんとかして下さい しかし、臼歯部メタルでなくなれば自費はかなり減りますね/いつもお世話になります 申請(給付金)では色々すばやくおしえていただきありがとうございました
- 義歯の点数がひどく低いので何とかして欲しい。
- ワクチンの優先接種に関し、歯科医師会非所属の不利益をなくしてほしい
- 2020年9月開業の為、変化なしと答えています/一番に改善して欲しいです!!
- 202年7月開院です
- (点数自体が高くなっているの)
- 予防、歯科健診の重要さを保健診療で認めてもらいたい
- 歯周病予防のメンテナンスを保険と認め、メンテナンスやSPT、P重防の期間やしばりを緩和してほしい

自由記載欄②

- 協会の方の働きかけをしていただき点数の加点がありました。インレー、FCKに頼る部分はやはり大きいです。CADにより患者さんの選択が増えたのはとてもいい点です。点数改定(パラの加点)を期待したいです。よろしくご依頼致します。
- 歯科に対する誤解は解けつつある/行っていません。
- 金属の値上がり、CRインレーはコスト的に良いが複雑窩洞はやはりコンタクトで割れるためメタルの使用率が高くなる。混合診療を解禁しないと患者さんの支払いとクリニックの維持に今後影響が大きく歯科医療崩壊にもかかわると考える。コロナ感染症対策をして口腔ケア(予防歯科)の重要性を向上させるのにも混合診療は大変有効な対応策になると考える。
- 理事長所有
- はじめたばかり 患者様いません/開院3年目 2019年6月開業
- コロナの対策や、ワクチン接種のとりまとめを歯科医師会が行っていたがあまり役に立ったようには思えず、個人で対応することが多かった。会費払っているのに対応が後手になっていて困る。保険点数の件で歯科医師会にTELをしてもあまり対応が良くないが、保険医協会にTELすると、とても親切に対応して下さるので助かります。
- 点数を歯科と同等に評価し、上げて欲しい。
- 金パラの逆ザヤはひどいと思う。早急に改善すべき。
- 質の良い根管治療を行いたい。点数が上がれば、十分な時間を割いて治療したい。
- (開業前です)
- 保険診療を辞めたら、色々な事が楽になりました。
- 根管治療の点数が低くて治療をすればする程赤字になる。
- 特に金パラ「逆ザヤ」は一刻も早く解消を望みます。

自由記載欄③

- コロナに対してあおりすぎている報道など、税金引き上げなどなるのが一番困る。通常通りの生活へ早期にすることが大事
- 202年7月開業のため不明
- 保険点数を一般医と同等にしてほしい
- 一刻も早くワクチン接種を国全体に普及させることが歯科医療にとっても喫緊の課題と考えます
- 飲食業のみならず医療機関もコロナの打撃を大きく受けています。国民の健康保持、増進、感染症等の疾病対策は、国家の存亡にもかかわる重大事項であることを国は忘れてはいけません！危機管理意識が国、国民ともになさすぎる！/（社員 テレワーク、老人外出せず 在宅者多く 出社セズ）パラ金属高トウ CAD冠 CAM→料金低過ぎ 義歯の（手間かかる 時間必要 低過ぎる 厚生官僚が自分の義歯治療してみれば理解できるはず。雇用時健診に歯科も入れるべき！
- 金パラの高とうもかなり大きな問題ですが、処置点数が低すぎるので辛い
- 材料費高騰に見合う保険点数の改善等々
- 共有
- 時代に見合った保険医療制度の導入を望みます
- 歯内療法関連の点数改善
- 混合診療は他国（スウェーデン）でも導入され、うまくいっている。予算に限りがあるなら、とり込むべき。
- 金パラの点数があがっているのに減収 実際はもっと苦しい。コロナワクチンの注射もして収入にしたい
- 家賃支援金、持続化給付金の段階的条件緩和
- ”高齢者 2割負担反対”
- パラを前日、安くなったと商社から電話がありいくらと聞くと30g91.000円と聞いて驚いた。金属購入の補助が欲しいところ。
- 雇用調整助成金の支援
- とにかくパラが高い クラウン入れたら赤字

自由記載欄④

- 金パラが高すぎる。/ここ1~2年コロナのため中止している
- マスコミ新聞のおどしみたいな報道をどうにかしてほしい
- 閉院したときの患者さんが難民にならないように、歯科医師のレベルアップ 10人10色であってよし
- 東京はじめ関東(非歯科医師会員が地方に比べて少ない地域)に対しての市町村での歯科健診を見れない 同じ歯科なのに非会員ではない こういうのもどうかと思います。
- 学童期からの継続的受診勧奨
- 全体的に保険点数を上げてもらいたい
- 金パラは大々的に取り上げなくてはいけない問題に思う。他の業界にこんな状況があるのか？
- 金パラの逆ザヤをお願いしたいです
- チタン冠をOKにするくらいなら、CAD/CAMでセラミック使えるように
- コロナ禍の中、補助金、支援給付金等、いち早く分かり易い情報親切丁寧な保険医協会の対応に感謝しています。かなり助かりました。今後とも情報等宜しくお願い致します
- ホケン医に支援金を！ このままでは医療崩壊だ！
- なんとんでもパラ対応
- いつもありがとうございます
- 衛生士さんの賃金アップ対策(補綴点数のアップ)
- 口腔の健康が食事はもちろん免疫力増進の為に大切である事を国民にしっかり伝えることが必要だと思います。
- 軽傷も重症も同じ報酬では経営が成り立たないのに税務署からは赤字を責められ事業として認めない可能性をほのめかされる。(芝税務署)

自由記載欄⑤

- パラジウムや純金が高騰しているのに、20%パラ12%金の金パラ規則基準をその32%白金(プラチナ)で代用できる様なシステムを柔軟に改善できないのか？ 5/27現在 ・パラジウム11000・純金7400・白金(プラチナ)4650}の為
- 新規技術は導入していく方が良くと思うが、それに附口する器機が高額すぎるので結局手が出せない。
- 金パラの高騰には本当に困っています 1ヶ月単位での見直しをして欲しいです
- 昨年4月は緊急事態宣言直後だったため
- ※2020年4月5月と休診した。(比較回答できない)
- 飛沫によるコロナ感染を恐れる患者さんが多く、定期検診を延期される方が多くいらっしゃいました。感染に強いからだ作りのために定期的歯面清掃が必要なことをアピールした方がよいと思います
- ☆アンケートばかり会員からとり上げても政府にマウスウォッシュなどの今できる必要な手段を提言しないのでは協会の存続意味がありません。 歯科大学病院のワクチン接種会場でマウスウォッシュ剤を配るなどの手を打って下さい。 インド異変株にそなえてです。
- ☆アンケート用紙を1枚紛失しました。 申し訳ありません。 とにかく患者来院人数が激減して頭を痛めております。 色々対策をとっていますが何か良い解決策があれば知りたいと思います アンケートご苦労様です ありがとうございます
- 金パラは国で買上げないともう限界を過ぎています
- とにかく出来ることをすべて実行する事のみ！(アルバイト含め)
- PCR、ワクチン接種の担い手の歯科医の積極的参加と了承と報酬

自由記載欄⑥

- がんPTの口腔ケア、金パラ期の点数を拡大してほしい 感染全身以外薬剤学医学的注意点多くても抗がん剤優先の治療時に歯科の口腔ケア等の点数にないのはおかしい 手術的よりも化学療法時の方が繰追が長く日数もかかる がん治療ではopeせずに化学療法が優先されるケースも増えているにもかかわらず、手術時のみの点数はおかしいと思う
- パラジウムはもう少しどうにかならないか？
- 先生方大変苦勞・努力をしておられると思います 打開策があれば教えて戴きたいと思います 山本
- まずは金パラの高騰を対応してほしい
- ①美歯床を新製した時の美歯の調整が月1回しかとれないが数回調整が必要な場合がある。
②根治の時の点数が低すぎる
- 金パラの価格と金属冠の点数があまりにも適格ではないと思います
- スタッフの昼食を別々にとるようにしている。コミュニケーションが(友人など)へり、人間関係が不安定でスタッフへ個別の働きかけ(声かけ、メール)が増えて気が抜けない
- 金パラの高騰がもつとも厳しい！！
- 金パラの金額は限界を超えている。代替品を早急に！
- 高齢者が医療費の大多数を占めるいびつな保険制度を解消するにはどうしたらよいか
- とにかく金パラの点数を何とかして欲しい。価格が上がり続けているのに、7月の点数の見直しが無いということで落胆している。
- コロナ禍の終息を願います。
- ボランティアに近いCr,Br等を保険から外しても良いと思う。眼鏡、コンタクトは保険適応外。高価な物の方が大事にするのでは。補綴治療でなく予防にもっと保険を使うべきである。

自由記載欄⑦

- 欧米に右へ習いの愚かな感染症過剰対策は即取り止め、バランス感覚を取り戻せ！ GDPが最低になるのは火を見るより明らか。麻生太郎は大臣になる前の発言と真逆の緊縮財政主義に対し謝罪し、退職金辞退し職を退き、政治家たるを恥じよ！ 国民はこれ以上、馬鹿にされるな、国民主権が泣く!!
- ニュースで歯科医師がワクチンの接種に参加しているのを見ました。私も何かお手伝い出来ることがあればやりたいと思います。そして1日も早いコロナの終息を願っています。
- 医療従事者ワクチン予約も出来ず嫌になります
- コロナ加算も、たらなすぎです。患者一人一人に、グローブ、マスクも、取り替えているのでたらなです。後、患者さんのPCR検査も、保険診療の点数で、1、2週間に、一度検査させてもらいたい。お互いに感染するのもこわいし。
- 高得点レセプトによる指導、個別指導を廃止して医療報酬収入の増加をはかる必要があると思います。
- 金パラを使用する理由がよくわからない。そもそも世界的には使用されていないと思うが如何？赤字を出してまで使用する価値が、見出せない。
- 混合診療が認められれば今の政府与党の思惑からすると、保険診療は狭めるが、彼らの査察体制は残すという歯科医にとってあまり好ましくない方向に行くと思う!また一部の先生は喜ぶだろうが、歯科を保険の範疇から外す方向をマスコミを使って喧伝すると思う!本来歯科界が取る道は衛生士や技工士の生活改善の為彼等の権利を認め、彼らの報酬を保険で底上げを図り、またひいては我々の報酬が総医療費の割合で昔の水準12パーセント位まで戻すことだと思う。とにかく身内で診療報酬の取り合いをしているようでは、未来は無い。
- “とにかく全国民にワクチン接種をできるだけ早く終わらせて欲しい。結局のところ、全業種においてこれに尽きると思う。”
- 頑張ってもらいたい!

自由記載欄⑧

- グローブの値段が上がりすぎです。消耗品はエプロン・紙コップ・院長のグローブ・スタッフのグローブ・院長のマスクで130円はかかります。5点の50円は何を賄ってくれているのでしょうか？感染症対策としての点数なら15点くらいが妥当、だと思います。
- 今後の歯科技工業を考えると離職した技工士の復職支援も必要だと思う
- 保険診療で決められている金パラを使えば使うほど持ち出しになるのは明らかにおかしい。早急にルール改正等見直しをしてほしい。
- オンライン診療
- 医療(歯科・その他)・福祉抜本的見直しを切望します
- パラジウム最高値
- 歯科医療費の総枠拡大が絶対に必要
- 院内での感染対策は、以前よりかなり充実しましたが、コロナ禍が一刻も早く終息して、今までの生活に戻る事を願うばかりです。
- “最近の金パラ高騰でクラウンはCAD/CAM、インレーはCRにすることが増えました。そのため技工所への依頼件数が減ってきているので、CAD/CAMシステム導入できない技工所さんが厳しい状態です。そういった技工所さんにも何かしらの支援があったら有り難いと思います。”
- 政府の対応は完全に後手後手に回っています。管総理に辞めてもらうしかないでしょう。
- 金パラの逆ザヤの解消が重要